

## 2012年 年頭の言葉

最近の主な出来事

兵庫医科大学40周年記念事業・篤志解剖体慰霊祭

トルコ、岩手県立宮古病院での医療支援

西宮キャンパスグランドデザイン

津波避難ビル協定の締結

入試情報・醫聖祭・海鼻祭・基金報告

多彩人・海外だより・1月～4月の行事予定



平成24年

**兵庫医科大学は  
開学40周年を迎えます**



## 平成24年 年頭の言葉 開学40周年を迎え、 不惑の辰の志気も新たに

理事長 | 新家 莊平

昨年のあの苛酷な自然災害とその後遺症、そして人災とも言うべき国内外の政経の昏迷を思うとき、年が改まって素直に新春の訪れを寿ぐ気が致しませんが、この様な時こそ、日本人の奥底に潜む逞しい可能性を信じて、ただひたむきに前進することが、風雲を呼んで空を舞う辰の年に相応しいことではないかと思います。

さて、本学。昨年も例年通りに、西宮キャンパスでは教育・研究・診療の三本柱に、また神戸キャンパスでは教育・研究の二本柱に幅広い年輪を加えることができました。特に、西宮キャンパスでは6年間にわたる中期事業計画を一年前倒しにして、ほぼ成功裡に終止符を打ち、新規の次期中期事業計画の策定に入るとともに、本年の開学40周年記念事業への火蓋を切ることができました。

そして、その延長線上、今年も佳き年であれと願いつつ、両大学の昨今の動向について、一言所感を申し上げ、年頭のご挨拶としたいと思います。

先ず医学部の教育の柱について。

周知のように、昨年度の本学の国試、好調だった過去2年の成績にはおよびませんでしたが、その上向きの趨勢には変化なく、また、それに伴って、かねてから懸案だった入試の難易度も上昇してきました。これらは教員達の熟達の指導力とこれに応えた学生達の切磋琢磨の相乗効果によるものですが、学内学習アメニティの改善や国内外の大学との交流を含めた教育環境の整備も大きく寄与しているものと思います。

今年度より始まる学納金の減額も、また、これらの流れに棹をさすことになるでしょう。

他方、大学院の機能は残念ながらまだ充分とは申せず、その大胆な活性化策が俟たれているところです。

次に研究の柱について。

医学研究面での充実ぶりはかねてから本学が自負するところであり、その指標の一つとなる外部資金の獲得状況は毎年好調を維持しています。文部科学省、厚生労働省や環境省等その他の対象範囲も年々広がってきました。知的な財産も次第に重みを増し、トランスレーショナルな研究の基盤も徐々に固まってきました。

最後の柱、診療について。

特定機能病院や、災害拠点病院として、更には、病病・病診連携の中核病院として本学の病院の高い実力は確実に定

着してきました。最近のメディアのランク付けでも「頼れる病院」として常に全国レベルのトップクラスに位置づけられています。

各診療科の体質強化や機能別・臓器別の、数々のセンターの整備も病院機能の向上に貢献してきました。その経営面でも、診療報酬改訂などの追い風もありましたが、各人の意識改革のもと、積極的な生産性向上、徹底した経費削減により、その収支は直近の3年にわたって大きく改善しました。さらに、この度、免震構造を備えた「急性医療総合センター」の建設を進めており、文字通り、急性期対応の高機能医療を拡大、充実することになりました。来年の6月には開設を迎えます。

地域の医療に必須の「ささやま医療センター」も再出発後1年を経て、その経営状況も右肩上がりに安定し始めました。新しいスタッフの導入と全人的医療を目指す構造・機能改革が効を奏したようです。

神戸キャンパスの兵庫医療大学では、昨年、看護学部とリハビリテーション学部の初めての卒業生を輩出しました。両学部の国試や就職の成績はいずれも抜群で、100%あるいはそれに近いものでした。同時に新設された両大学院も順当に発足しました。

薬学部では、来年卒業を迎える第1期生の国試や就職に向けての対策が強力に推進されておりますが、来春には私共の期待に応えうる結果が出るものと思っています。また、同学部の大学院設置申請準備も計画通りに進んでいます。

このように、両兄弟大学が共通の理念の下に、年々、大学力を向上させてきたことには、誠に胸膨らむ思いがいたします。今後は、現在策定中の中期事業計画を立ち上げ、この成長路線を継続していくこととなりますが、その中で最重要課題の一つが老朽化が懸念される西宮キャンパス全体の再開発整備(西宮キャンパスグランドデザイン構想)であります。これは、本学の20年、30年先が問われる一大事業であり、その道程は決して容易なものではありませんが是が非でも成功させねばなりません。

しかし、山の彼方に目を遣るだけでなく、足元に横たわる大小様々の課題にも目配りして真摯に対応していかねばならないのは言うまでもありません。

この度の周年事業支援のための募金活動の推進、学内各部門別の生産性向上への検討や適正な人事考課に基づくイ

ンセンティブの導入、電子カルテをはじめとする高度情報システムの構築、高度先端医療機器の戦略的整備等が直近の課題として挙げられますが、本学としてはその一つ一つに全力を傾倒していかねばなりません。

幸い、この開学40周年を契機として全教職員や全学生

の意気が大いに上がっておりますので、同窓会や後援会とも手を組んで連帯感をさらに深め、これまでの成長への達成感とその矜持、そして、熱い志を自らのうちにさらに膨らませつつ、虎を呑む龍さながらに、天高く飛翔していただくようお願いして年頭の所感といたします。



## 平成24年 年頭の言葉 西宮キャンパスグランドデザインの 推進に向けて

副理事長 | 波田 壽一

皆様、明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとって幸多い年になることを願っております。

昨年の新年の挨拶では「西宮キャンパスグランドデザインの策定を目指して」と題して記述させていただきましたが、今年はさらに進んで「西宮キャンパスグランドデザインの推進に向けて」というタイトルにいたしました。平成22年10月から平成23年8月までの間に西宮キャンパスグランドデザイン(以下「本グランドデザイン」)を策定するために外部からコンサルタントを入れてパートナーになっていただき、策定小委員会6回、ワーキンググループでの検討4回、事務局での検討25回を行い、一応の結論に達し、その案を昨年9月の理事会・評議員会にてご承認いただき、さらに昨年10月17日に全学教職員への報告会を開催いたしました。ここではその要点の一部をご紹介します。まず第一に西宮キャンパスを現在の場所でキャンパスとしてリニューアルできるかどうかという点を検討し、現在の建蔽率、容積率と本学のリニューアル時の建築目標(学生一人当たりの校舎床面積、病床数及び一床あたりの床面積、その他から)から考えて、現在の場所でのリニューアルが可能であるというのが最初の結論であります。次に本グランドデザインの基本目標を「20年後のキャンパスの将来像を描き共有化する」といたしました。さらに、どのようなコンセプトに基づいて行うかを検討し、「奉仕・愛・科学」を自己性(College Identity)とし、その下に①社会性(Creative Communication)、②機能性(Trinity & Flexibility)、③快適性(Amenity & Convenience)、④安全性(Safety & Security)の4つをコンセプトとして本グランドデザインを策定することにしました。(各項目についての解説は紙面の都合で省略しますが、追って本学ホームページに掲載する予定です)

のでご参考にしてください。)一方で教職員、学生、卒業生、近隣の住民の方々にアンケート調査をさせていただき現状の利点、改善点、改築への要望などをご記入いただいたものをコンセプトの各項目に具体化すべき言葉として落とし込みました。その上で6つの改築案を作成しましたが最終的に2つの案が残りました。1つは本学の真ん中に南北に市道が通っていますが、これを現状のまま残す場合と、もう1つはこの市道を本学に譲っていただき、その代わりにこの道路分を本学の周辺に市道として付け替えた場合であります。本学としては後者を希望しますが、現在、所轄行政と話し合いを行っており、行政側の結論をいただいて前者か後者に決めることとなります。いずれにしても現在急性医療総合センターが建築中で、これが平成24年12月に完成予定ですが、その後6号館を解体し、その跡地と5号館前の芝生広場と7号館の場所を使って新教育・研究棟を建築することになります。ここまでは市道の扱いに関係なくできることから平成26年には工事を開始して平成28年には竣工させ、3、5、7、9号館の機能を移すこととなります。その後9号館、立体駐車場を解体して新病院棟を建てる予定ですが、これには市道の扱いで建物の大きさが変わりますので、行政側の回答を待って改めて検討することになります。さらに整備計画は続きますが、今回は紙面の都合でここまでとさせていただきます。現在本グランドデザインの実現に向けて「グランドデザイン推進委員会」が設置され、本事業を進めていくことになっております。本事業の完成年度は予定では平成44年ということになり、長丁場になりますがご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。(本号25ページ「西宮キャンパスグランドデザイン」をご参照ください。)

10月 **October**

1	■兵庫医療大学	大学院入試	P20
5	■兵庫医科大学	リエカ大学 交換留学生 ウェルカムパーティー	P8
7	■兵庫医科大学	寄附講座 感謝状贈呈	P11
8・9	■兵庫医療大学	海鳥祭・ホームカミングデイ・職業理解イベント	P21~23
12	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「こんな時どうするの?子どものホームケア」(小児救急認定看護師 湯浅 真裕美看護主任) 市民健康講座「家庭での救急処置」(救急看護認定看護師 千島 佳也子看護主任)	
13	■兵庫医療大学	薬学部FDセミナー	
15	■兵庫医療大学	ポーアイ4大学総合防災訓練	P3
18	■兵庫医科大学	篤志解剖体慰霊祭	P6
21	■兵庫医科大学	西宮教職員共済会 親睦行事吉本お笑いライブ	
23	■ささやま医療センター	篠山教職員共済会 日帰り旅行	P18
24	■兵庫医科大学	リエカ大学 交換留学生 報告会	P8
	■兵庫医科大学	リエカ大学 交換留学生 フェアウェルパーティー	P8
26	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「ウォーキング・ジョギングの功罪」(整形外科 吉矢 晋一主任教授)	
	■兵庫医科大学病院	自衛消防訓練	P4
27	■兵庫医療大学	仕事研究セミナー「私の仕事」～卒業生からのメッセージ～	P19
	■ささやま医療センター	感染症及び医療安全管理に関する講習会(於:篠山市民センター)	P17
29	■ささやま医療センター	篠山教職員共済会 日帰り旅行	P18



10/15 ■兵庫医療大学  
ポーアイ4大学総合防災訓練

ポーアイ4大学総合防災訓練が、神戸学院大学で実施されました。ポーアイ4大学連携推進センターが主催し、兵庫医療大学・神戸学院大学・神戸女子大学・神戸女子短期大学の学生、教職員や地域住民の方々が約200名参加しました。東日本大震災を踏まえ、今回初めて津波を想定した避難訓練も併せて実施されました。

神戸市消防局水上消防署と兵庫県神戸水上警察署のご協力のもと、けがの手当講習や防災ミニ講座、消火器訓練、放水訓練、ヘリコプターでの搬送訓練などが行われ、いざというときの備えや心構えを再確認する機会となりました。



10/27 ■兵庫医科大学病院  
自衛消防訓練

1号館8階東棟器材庫からの深夜時間帯の出火を想定し、教職員による自衛消防訓練を実施しました。第一発見者が通報、当該棟看護師が初期消火を行い、通報により駆けつけた医師や看護師らが仮想患者を1号館7階ナースステーション前に避難誘導しました。避難誘導では当該棟当直医と看護師が指示を行い、患者さんの状態に合わせてイーバックチェアやバスケット・ストレッチャーを用いて避難を行いました。また、鳴尾消防署にご協力いただき、はしご車による救助、消火器を用いた消火訓練も行いました。

鳴尾消防署長からは「迅速な避難誘導であった。」とご講評いただき、患者さんの安心安全を守る立場として、災害拠点病院として、これまで以上に意識を高める機会となりました。



11/5 ■兵庫医科大学病院  
市民公開講座「高齢者のくらしと栄養」

第22回日本老年医学会近畿地方会 会長である内科学糖尿病科の難波光義主任教授の主催により、「高齢者のくらしと栄養」をテーマにした市民公開講座が開催されました。「平時にも災害時にも役立つ口腔の知識」について本学歯科口腔外科学岸本裕充准教授が、「地域高齢者の咬合力と介護予防のための栄養管理」について武庫川女子大学食物栄養学科前田佳予子教授が、「高齢者の危機管理における地域栄養支援ネットワークの必要性」について武庫川女子大学生生活環境学部福尾恵介教授が講演されました。

11月 **November**

1	■兵庫医科大学	利益相反セミナー	
	■兵庫医科大学病院	市民公開講座「高齢者のくらしと栄養」(第22回日本老年医学会近畿地方会)	P4
5	■ささやま医療センター	篠山教職員共済会 日帰り旅行	P18
	■兵庫医療大学	平成24年度 専願公募制 推薦入学試験	P20
6	■兵庫医療大学	平成24年度 公募制A日程 推薦入学試験	P20
	■ささやま医療センター	篠山教職員共済会 日帰り旅行	P18
8	■兵庫医療大学	自衛消防訓練	
9	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「知って防ごう～インフルエンザとノロウイルス～」(感染管理認定看護師 小松 美雪看護師) 市民健康講座「糖尿病と足の関係～あなたは足を見ていますか?～」(糖尿病看護認定看護師 窪岡 由佑子看護主任)	
	■兵庫医科大学病院	医療監視	
10	■兵庫医科大学病院	第8回病診・病病連携の会(地域医療・総合相談センター主催)	
	■兵庫医科大学	平成24年度 一般公募制及び地域指定推薦入学試験	P7
13	■兵庫医療大学	介護支援講座「認知症の人の緩和ケア～オーストラリア(メルボルン)の緩和ケアから～」	
15	■兵庫医科大学	知的財産セミナー	P3
19	■兵庫医科大学病院	PETセンター開設5周年記念講演会	P4
19・20	■兵庫医科大学	醫聖祭	P9~10
21	■兵庫医療大学	仕事研究セミナー「私の仕事」～なぜ私が企業の研究職を選んだのか?～	P19
24	■兵庫医科大学	歴代後援会会長との懇談会	P4
28	■兵庫医科大学	天津医科大学 合同国際シンポジウム	P12
30	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「腎不全と腎移植」(泌尿器科・腎移植センター 野島 道生准教授)	



11/15 ■兵庫医科大学  
知的財産セミナー

社団法人発明協会 広域大学知的財産アドバイザーである杉原長利氏を講師にお招きし、知的財産セミナーを開催しました。杉原氏は本学の知的財産アドバイザーでもあり、本学の発明委員会にもご出席いただいております。この度は「大学の知的財産活動への期待」と題して、論文発表と特許、医療関係の特許などについて、本学の状況に則したお話をご講演いただきました。



11/19 ■兵庫医科大学病院  
兵庫医科大学病院 PETセンター開設5周年記念講演会

平成18年11月に開設されたPETセンターが5周年を迎えるにあたり、記念講演会を行いました。太城病院長による挨拶のあと、核医学・PETセンターの柏木徹センター長より「兵庫医科大学病院 核医学・PETセンターの現況と今後」についてお話いただきました。続いて理化学研究所分子イメージング科学研究センターの渡辺恭良センター長より「PET分子イメージングを活用した先制医療の推進」と題して記念講演が行われました。



11/24 ■兵庫医科大学  
歴代後援会会長との懇談会

兵庫医科大学後援会の歴代会長5名をお招きして、本学役員との懇談会を行いました。新理事長からの開会の挨拶では、これまでに兵庫医科大学の教育・研究に多大なるご尽力を賜ったことへのお礼が述べられ、感謝状が贈られました。その後、役員からの兵庫医科大学の現状報告に歴代会長の皆さまは熱心に耳を傾けられ、懇談中には本学の今後の展望も含め多数のご意見を賜ることができました。



## 開学40周年を迎えて

### 兵庫医科大学 学長 | 中西 憲司

皆様明けましておめでとうございます。はじめに、皆様のご多幸とご健勝を心からお祈りいたします。昨年は「40周年前夜」という題で寄稿しました。いよいよ今年は開学40周年の年です。昨年を振り返りながら、今年の活動を述べたいと思います。

昨年は充実した一年だったと思います。医師国家試験合格率は90%台を保持、科学研究費獲得額トップレベル校、頼れる病院ランキング県下トップ病院の称号をキープしました。改めまして、本学教職員の皆様方のこれまでのご努力に対し感謝申し上げます。大変残念だったのは、本学名誉教授で現在大阪大学教授の審良静男先生が、ノーベル生理学・医学賞に選ばれなかったことです。受賞対象となる研究は本学在任中に多くなされました。そのため、ノーベル賞シーズンには毎年記者会見場が本学内に設けられ、私は受賞者発表の便りを緊張した思いで毎年待ちました。受賞に相応しい業績だけに、本当に残念でなりません。この場を借りて、このような大発見が本学でなされたことを在校生、卒業生、そして教職員の皆様方に是非知っていただきたく存じます。そして願わくば、新たなヒーローが本学に早く現れて欲しいと思います。

授の審良静男先生が、ノーベル生理学・医学賞に選ばれなかったことです。受賞対象となる研究は本学在任中に多くなされました。そのため、ノーベル賞シーズンには毎年記者会見場が本学内に設けられ、私は受賞者発表の便りを緊張した思いで毎年待ちました。受賞に相応しい業績だけに、本当に残念でなりません。この場を借りて、このような大発見が本学でなされたことを在校生、卒業生、そして教職員の皆様方に是非知っていただきたく存じます。そして願わくば、新たなヒーローが本学に早く現れて欲しいと思います。

今年は開学40周年の年です。特別な年であるからこそ落ち着いた活動が必要です。まず、大学は40年の重みを感じながらも、押しつぶされること無く、一丸となって前進する必要があります。様々な40周年事業が企画されています。いずれも、本学を活性化し、本学の将来に必要なものばかりです。日程的には11月22日には40周年記念式典が開催されます。国内外から来賓を招き、大学をあげて誕生祝いをしたいと思っております。それに間に合わせて40周年誌を発行します。少し遅れて、大学の歴史を日本語版と英語版で出版したいと思います。40周年誌には本学の歴史を物語る貴重な写真も多数収めたいと思います。この様な記録とともに、40年間に大学が培ってきた知財、各時代における研究業績、新聞報道、教育図書、卒業生にとって懐かしい資料や写真等、兵庫医科大学アーカイブに保存するため収集作業を開始したいと思います。更に、本学が今後も永続的に発展するため、ハードとソフトの両面で抜本的な改革を断行したいと思います。この様な事業を成功させるには、教職員と卒業生、そして後援会との連携が必須であります。是非とも皆様のお力をお貸しいただけるようお願い申し上げます。

## 兵庫医科大学開学40周年記念事業

— 新しい年を迎え、兵庫医科大学は大きく飛躍するための第一歩を踏み出します —

本学は、昭和47年4月開学から着実に歩みを進め、平成24年度に40年の節目を迎えます。この開学40年を機に、急速に進歩・発展する医学・医療の現状を踏まえ、ハード・ソフトの両面から本学を抜本的に再構築し、本学の歩みをさらに加速させるために、開学40年の各種記念事業(教育、研究、診療の各分野の充実と高度化に向けた事業や未来への架け橋となる事業など)を計画しています。

この開学40周年記念事業は、本学を再活性化し、教育、研究、医療のいずれの面においても他大学と差別化を図り、“Only One”大学へと飛躍的に発展させる第一歩とするために推進いたします。

- 《教育目標》
- 急性医療やプライマリーケアに秀でた地域医療に貢献する医師を養成する
  - チーム医療を通じて安全で安心できる医療を提供する医師を養成する
  - 高い医療技術と知識を有し、思いやりの心を持った先進的医療を担える医師を養成する
  - 国際感覚を持ち、グローバルに医療を展開できる医師を養成する
  - 本学の教育・研究・医療の未来を担える独創性を有する医師等を養成する

《研究目標》

- 世界に誇る「知を創造」し、本学の高い研究レベルを世界に発信する

- 《医療目標》
- 阪神地区の拠点病院、特定機能病院として高度医療、高度な医療技術の開発に貢献する
  - 医師の偏在を是正し、地域医療の充実に貢献する
  - 医療安全とチーム医療を重視し、学内外を問わず様々な医療人の教育とスキルアップに貢献する

本学では、各種記念事業を推進していくため、「兵庫医科大学開学40周年記念事業委員会」を設置し、記念事業を通して上記の目標達成を目指します。

## 名誉教授称号授与

平成23年10月1日付けで、2名の方に兵庫医科大学名誉教授の称号が授与されました。

**小泉 直子** 元教授(公衆衛生学)

現職：内閣府食品安全委員会委員長  
(平成15年6月30日 退職)

**審良 静男** 元教授(生化学)

現職：大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授  
平成17年5月 紫綬褒章 受章  
平成21年10月 文化功労者 受章  
(平成11年3月31日 退職)



左：中西憲司学長 右：審良静男名誉教授

## 教授就任



精神科神経科学

湖海 正尋

平成23年12月1日就任

昭和57年	3月	京都府立医科大学医学部 卒業
昭和57年	5月	京都第一赤十字病院 精神科 研修医、レジデント
平成元年	7月	医療法人幸仁会 阪本病院 医師
平成4年	8月	兵庫医科大学病院 精神科神経科 医員
	10月	兵庫医科大学 精神科神経科学講座 助手
平成8年	11月	兵庫医科大学 精神科神経科学講座 学内講師
平成10年	4月	兵庫医科大学 精神科神経科学講座 講師
平成17年	4月	神戸学院大学 人文学部 教授
平成19年	4月	正仁会 明石土山病院 顧問
平成20年	4月	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 教授
平成23年	10月	兵庫医科大学 精神科神経科学講座 准教授
	12月	兵庫医科大学 精神科神経科学講座 教授

## 平成23年度 兵庫医科大学 篤志解剖体慰霊祭

平成23年10月18日、平成記念会館において、平成23年度兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭が執り行われました。医学教育・研究及び医療の進歩と発展のために、自らのご遺体を捧げられた方々を祭祀するため、本学では毎年10月第3火曜日に無宗旨形式で執り行っております。

本年度は平成22年10月1日から平成23年9月30日の期間に、その身を解剖に捧げられた、系統解剖ご霊位58柱、病理解剖ご霊位26柱のあわせて84柱を祭祀させていただきました。

式はご霊位の奉読に始まり、全員黙祷のあと中西学長、太城病院長、解剖担当教室を代表して寺田主任教授による慰霊の詞、西宮市長から弔辞の詞をいただきました。続いて、学生代表の第2学年次武田紗季さんより謝意の詞が述べられ、解剖担当教室の廣田誠一主任教授からはご遺族の方への謝意が述べられました。その後、故人のご冥福をお祈りして参列者全員による献花が行われ、本学教職員並びに学生は、ご霊位に対し医学・医療の向上に寄与することを誓いました。



学生代表による謝意の詞

## 平成24年度 兵庫医科大学 医学部入学試験 速報

### 推薦入学試験

#### 一般公募制推薦入学試験

試験期日：平成23年11月13日(日)  
 試験科目：基礎学力検査、小論文、面接、調査書  
 合格発表：平成23年11月19日(土)

募集人員	約15名
志願者	60名(35名)
受験者	59名(35名)
合格者	15名(9名)
実質競争倍率	3.9倍 (5.1倍 地域公募併願者を含む)

※実質競争倍率は「受験者/合格者」( )内は、女子・内数

### これから始まります！

#### 一般入学試験

募集人員	約80名
出願期間	平成23年12月12日(月)～平成24年1月17日(火) 消印有効
試験科目	第1次試験：数学(150点)、外国語(150点) 理科(物理、化学、生物から2科目選択)(200点) 小論文(重視する) 第2次試験：面接
試験期日	第1次試験：平成24年1月25日(水) 第2次試験：平成24年2月4日(土)または5日(日) (希望日を出願時に選択)
試験会場	第1次試験 大阪会場：インテックス大阪 東京会場：五反田TOCビル 福岡会場：福岡国際会議場 第2次試験 兵庫医科大学
合格者発表	第1次試験：平成24年2月2日(木) 第2次試験：平成24年2月10日(金)

#### 地域指定制推薦入学試験

試験期日：平成23年11月13日(日)  
 試験科目：基礎学力検査、小論文、面接、調査書  
 合格発表：平成23年11月19日(土)

募集人員	5名以内
志願者	38名(20名)
受験者	37名(19名)
合格者	5名(3名)
実質競争倍率	7.4倍

※実質競争倍率は「受験者/合格者」( )内は、女子・内数

#### 大学入試センター試験利用入学試験

募集人員	約10名
出願期間	平成23年12月12日(月)～平成24年1月13日(金) 消印有効
試験科目	第1次試験：国語(近代以降の文章のみ)、数学(数学I・数学A、数学II・数学B)、理科(物理I、化学I、生物Iから2科目選択)、英語(筆記・リスニング) 第2次試験：面接
試験期日	第1次試験：大学入試センター試験日 第2次試験：平成24年2月15日(水)
試験会場	第1次試験：大学入試センターが指定する試験会場 第2次試験：兵庫医科大学
合格者発表	第1次試験：平成24年2月10日(金) 第2次試験：平成24年2月21日(火)

## 平成24年度 兵庫医科大学 大学院入学試験 速報

### 前期入学試験結果

#### 医学研究科入学試験(前期募集)

試験期日：平成23年9月16日(金)  
 試験会場：兵庫医科大学  
 選考方法：外国語試験、面接  
 合格発表：平成23年10月7日(金)

受験者	15名
合格者	15名

### これから始まります！

#### 医学研究科入学試験(後期募集)

出願期間	平成24年1月23日(月)～2月4日(土)
試験期日	平成24年2月17日(金)
試験会場	兵庫医科大学
選考方法	①外国語試験 ②面接(担当教授との面接が終了している場合には免除することがある)
合格発表	平成24年3月9日(金)

#### 過程を経ない学位申請者に対する外国語試験(第59回)

試験期日：平成23年9月16日(金)  
 試験会場：兵庫医科大学  
 選考方法：外国語試験  
 合格発表：平成23年10月7日(金)

受験者	5名
合格者	3名

#### 過程を経ない学位申請者に対する外国語試験(第60回)

出願期間	平成24年1月23日(月)～2月4日(土)
試験期日	平成24年2月17日(金)
試験会場	兵庫医科大学
選考方法	外国語試験
合格発表	平成24年3月9日(金)

※詳しくは平成24年度学生募集要項をご確認ください。

## クロアチア共和国 リエカ大学医学部 交換留学

兵庫医科大学とリエカ大学医学部は平成19年より「学術交流に関する協定」を締結し、平成20年度から交換留学を実施しています。本年度は8月29日から9月23日まで本学の第5年次生3名がリエカ大学に留学し、10月3日から10月28日までリエカ大学医学部の第5年次生3名が兵庫医科大学で実習を行いました。



### リエカ大学での交換留学を終えて

私は産婦人科病棟にて実習を行いました。初めての異国での病院実習は、すべての経験が真新しく、文化の違いをひとと感じ、自分の視野の狭さ、そして世界の広さを改めて実感するものでした。クロアチアの産婦人科における手術は日本に比べて非常に手技が速いため、多いときは日に3回も手術手技を間近に見る事ができました。医療設備は日本の方が充実しているように感じましたが、患者さんに対する医師の想いや医療に対する向上心はみな同じで、とても充実した時間を過ごさせていただきました。(第5学年 益子 沙友里)

私は循環器内科で研修し、主にCCUの患者さんを担当しました。毎日2回のカンファレンスで患者さんについてディスカッションし、学会や勉強会の報告等も行われていました。先生は私が意思を伝えきれない時にも常に笑顔で支えてくれ、医学だけでなく、クロアチアの文化や生活についても多くのことを教えて頂きました。週末には様々なところへ足を伸ばし、本当に充実した日々を送ることができました。国を越え、患者さんにとってあるべき医師の姿を感じることができた今回の留学は自分の夢へのステップともなりました。(第5学年 鳥野 侑子)

私は精神科にて実習を行いました。実習病院はクロアチア本土ではなくラブ島という場所にあり、480床の規模・設備があるためクロアチア各地から患者さんが搬送されます。実習内容は、各部門の説明、主治医の回診の見学、研修医の仕事見学、アルコール中毒患者・薬物乱用患者に対するカラーテスト、Forensic psychiatry(司法精神医学)に関わる患者さんの病歴聴取が主なものでした。病院の実習が終われば、海やカフェ、Barに出かけ、楽しく過ごしました。医学知識はもちろんのこと、非常に多くの経験、語学、新しい視野・思考を私はこのプログラムで得ることができました。(第5学年 永尾 宏之)



リエカ大学からの交換留学生3名は、それぞれ小児科、産科婦人科、整形外科にて実習を行いました。滞在中にはウェルカムパーティやフェアウェルパーティを実施し、実習を行った医局だけでなく、多くの方と活発な交流が見られました。フェアウェルパーティでのスピーチではそれぞれ以下のような感想を述べ、本学での留学が実り多きものになったようです。

左から Tina Žic さん、Ivan Franjić さん、Daniela Vojnović さん

**Tina Žic**(ティナ ジック)さん 【小児科】  
「4週間という期間はとても早く、多くの発見がありました。腎結石の2歳男児の移植手術が印象的でした。」

**Ivan Franjić**(イヴァン フランニッチ)さん 【整形外科】  
「毎日が新しいことばかりで、すべての体験が興味深かったです。」

**Daniela Vojnović**(ダニエラ ボイノヴィツィ)さん 【産科婦人科】  
「京都や奈良はクロアチアにないものがたくさんあり、新鮮でとてもすばらしかったです。病院は親切な人ばかりで、みんな優しくとても過ごしやすかったです。すべての方に感謝しています。」

中西学長と交流

日本文化にまつわる品が贈られました。

誕生日を迎えた Tina さんに ケーキをプレゼント!

本学学生とも国を越えて交友を深めました!

# 兵庫医科大学 第40回 醫聖祭

平成23年11月19日(土)、20日(日)に第40回大学祭「醫聖祭」を開催しました。初日はあいにくの雨になりましたが、2日目はお天気にも恵まれ、記念すべき第40回目の醫聖祭も様々な催しで大いに盛り上がりました。



## ～HCM 4ever～

今年で40回目となる醫聖祭。  
このスローガンには兵庫医科大学が永遠に発展するようとの願いが込められています。

11月19日

### 医療シンポジウム

今年は東北大地震をうけて、「災害現場での救急医療」をテーマに医療シンポジウムを開催しました。本学において救急・災害医学講座を担当する小谷稯治主任教授、久保山一敏講師に加え、本学呼吸器外科(救命救急センター兼任)大類隼人助教、医療法人財団樹徳会上ヶ原病院の大江与喜子院長をお招きし、市民による救急活動や、被災地支援についてご講演いただきました。当日は地域のみなさんも多数ご参加いただき、活発な質疑応答も行われました。



11月19日・20日

### 解剖展示・医療器具展示

一般の方にも生命や医療により深く関心を持っていただくために、さまざまな展示が行われました。今年は「震災と医療について」をテーマに、放射線測定装置の展示なども行いました。



11月19日・20日

### 美術部・写真部 作品展示

平成記念会館のエントランスに部員たちの作品を展示しました。新学理事長の絵画をはじめ、教職員による絵画・写真も飾られ、まるで美術館を訪れたような力作ぞろいの展示となりました。



11月19日

### バザー

今年もたくさんの方にお越しいただき、大盛況でした。



11月20日

### 医学講演会

「メダリストの言葉からスポーツと健康を科学する」

元日本代表水泳選手 田中 雅美さん

シドニーオリンピックメダリストである田中雅美さんをお招きし、本学の辻田 純三講師(健康スポーツ科学)と水泳部2年生の大野 博章さんを交えてのトークショーを行いました。モチベーションの保ち方や仲間の大切さなど、熱い思いをお話いただきました。来場者との質疑応答も行われ、会場全体が田中さんのお話に聞き入っていました。



11月19日・20日

### 軽音ライブ

4-1教室を特設ライブハウスに変身させて軽音ライブを行いました。出演バンドは日ごろの練習の成果を存分に発揮し、会場全体が大いに盛り上がりました。



11月19日・20日

### 篠山物産展

兵庫医科大学ささやま医療センターがある篠山市の名産品やご当地キャラクターグッズが販売されました。当日は丹波篠山築城400年祭マスコットキャラクターである「まるいの」も登場し、子どもたちに大人気でした。



11月19日・20日

### 模擬店



部活動ごとのさまざまな模擬店が中庭に出店しました。それぞれに趣向を凝らした店構えで、団結して準備をすすめた様子が伺えました。当日は地域の方との交流もみられ、大学祭ならではの楽しそうな様子でした。

大学祭実行委員&仲間たち  
みなさん  
お疲れ様でした!



## イベント

両日とも中庭特設ステージでイベントを行う予定でしたが、初日は雨のため3-3講義室での開催に変更となりました。この日まで準備を重ねてきたイベントに、来場者のみなさんも大盛りあがり、たくさんのはじける笑顔が見られました。

19日

### 開会式

大学祭実行委員長の片山篤志さんが醫聖祭開会を宣言!



### 兵医コレクション

男装・女装で大変身!



### お笑いライブ

かつみ♥さゆり、千鳥、ギャロップのみなさんをお招きし、会場中が大きな笑いに包まれました。



20日

### ZAWARAI

ものまね・ものぼけ・一発ギャグみんなの前で披露!



### ミスターコンテスト

兵庫医科大学のいい男を決定!



### ビューティ乙女

みんなで決めるミス兵庫医大!



### カラオケ・ダンス

醫聖祭のトリ!  
みんなで大盛りあがり!



## ■ 寄附講座 「実践医療コミュニケーション学講座」開設

個人の方からのご寄附により、平成23年9月から兵庫医科大学寄附講座「実践医療コミュニケーション学講座」が開設されました。平成23年10月7日、ご寄附くださった谷口雅子様をお尋ねし、中西学長より感謝状の贈呈が行われました。

谷口様のご篤志に感謝し、本講座では「コミュニケーション」の中でも特に医療安全に着目し、社会に貢献する優秀な医療人育成を目標としています。「コミュニケーション教育」、「組織における医療安全」、「社会における医療安全」、「画像解析ソフトウェアの開発」、「大学間交流」の5つを主題として講座を行います。



感謝状贈呈(左:谷口雅子様 右:中西学長)

## ■ 第1回 兵庫医科大学・兵庫医療大学 交流戦 理事長杯

クラブ名	交流日程	結果			開催場所
		兵庫医科大学	得点	兵庫医療大学	
バドミントン部男子	平成23年6月25日(土)	×	2-3	○	兵庫医療大学体育館
バドミントン部女子		×	2-3	○	
準硬式野球部	平成23年6月26日(日)	×	2-9	○	鳴尾浜グラウンド
硬式庭球部	平成23年9月4日(日)	台風のため中止			
軟式テニス部	平成23年9月17日(土)	合同練習等を実施(試合無)			東鳴尾テニスコート
サッカー部	平成23年9月23日(金)	×	1-2	○	鳴尾浜グラウンド
バスケットボール部男子	平成23年9月25日(日)	○	69-40	×	平成記念会館
バスケットボール部女子	平成23年10月15日(土)	×	33-130	○	大阪歯科大学



軟式テニス部



バスケットボール部 女子

## ■ 天津医科大学 合同国際シンポジウム

平成23年11月28日、天津医科大学の湯乃軍主任教授と于佩主任教授が来日し「合同国際シンポジウム」を行いました。

シンポジウム実施前には本学の外来や病棟、共同研究室などの設備を見学され、中西学長から感謝状と記念品の贈呈が行われました。

午後からの「合同国際シンポジウム」では湯乃軍氏と于佩氏に加え、本学の糖尿病科 難波光義主任教授、公衆衛生学 島正之主任教授が講演され、出席者との活発な質疑応答が行われました。



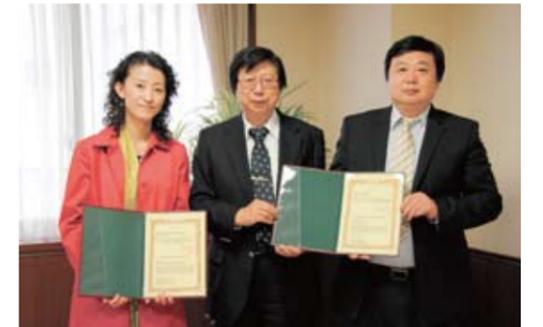
共同研究室を見学



合同国際シンポジウム



質疑応答



左:于氏 中央:中西学長 右:湯氏

## ■ 財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位:千円)

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(社)神緑会	膀胱がんに対する制限増殖型アデノウイルスベクターを用いた新規治療法の開発	寺尾 秀治 先端研(細胞・遺伝子治療)	500
(社)日本理学療法士協会	急性期の筋炎(多発性筋炎・皮膚筋炎)患者の早期運動療法効果と運動負荷量の検討	山内 真哉 リハビリテーション医学	250
(公財)8020推進財団	災害拠点病院の歯科口腔保健医療体制の現況～災害弱者である高齢者の肺炎予防～	岸本 裕充 歯科口腔外科学	500
(公財)武田科学振興財団	心不全貧血連関ネットワークの解明と新規治療の開発	内藤 由朗 内科学(循環器内科)	3,000
(公財)黒住医学研究振興財団	悪性中皮腫におけるバイオマーカーとしてのCD146の有用性	佐藤 鮎子 病理学(分子病理)	800

## ■ 平成23年度 厚生労働科学研究費補助金

(単位:千円)

研究事業名	研究課題名	所属部局	研究代表者	交付額
難治性疾患克服	致死性骨異形成症の診断と予後に関する研究	産科婦人科学	澤井 英明	11,700 (うち間接経費 2,700)



## 激変する社会に対応できる病院へ

兵庫医科大学病院 病院長 | 太城 力良

新年あけましておめでとうございます。  
 進化論のダーウィンは、「この世に生き残る生き物は、最も力の強いものか？  
 そうではない。最も頭のいいものか？そうでもない。それは、変化に対応できる生き物だ」という考えを示したと言われています。  
 昨年は激動・変化の一年でした。イスラム世界の民主化、ギリシャ発のEU金融危機、バンコクの洪水、NZやトルコの地震などがありました。国内でも、東日本大震災、原発事故、政治の混乱、台風12号豪雨、円高、TPP問題、鳥インフルエンザなど、次々と起こる難題に解決能力をなくした行政の対応に歯がゆい思い

をしました。この時代には、臨機応変、スピード感を持って想定外のことも対応できる応用力、決断力が求められています。

医療界でも、医療ツーリズムや病院経営への株式会社への参入、先端技術の導入が進み、跳ね上がる国民医療費と国の財政赤字の問題は早期に解決されそうにもありません。このように医療政策の不透明さはありますが、大学病院には特定機能病院として急性期医療に特化した役割が求められていることは明らかです。そのため、昨年に地鎮祭を行った免震構造を有する急性医療総合センターは本年末には竣工し、来年6月には稼働を予定しています。また、1号館12階の特別病棟の運用開始も数か月以内には行います。このように、本年は、社会の変化に応じてハード面での大きな変革を行います。ハード面で病院が大きな変貌を成し遂げても、電子カルテ、マネジメント能力、診療体制などのソフト面での対応が追い付かなければ、投資は無駄になるでしょう。

兵庫医科大学が激動する変化に対応して本年の干支である「昇り竜」となれるか否かは、全教職員のマンネリを排し改善しようという努力、職員の意識改革が決定します。生き残るだけでなく、日本一の頼れる病院になるように、全教職員のご協力をお願いいたします。ガンパロウ、日本、ガンパロウ、兵庫医大！

## 頼れる病院ランキング 兵庫県で1位

10月29日発売の週刊ダイヤモンド43号に「頼れる病院2012」が掲載されました。この調査は全国1250病院を対象に行われ、医療に関する12の指標<sup>(\*)</sup>に基づいて100点満点で得点を割り出し、ランキングにしたものです。

西日本		兵庫県	
1位 関西医科大学枚方病院	95点	1位 兵庫医科大学病院	94点
1位 鳥取大学病院	95点	2位 神戸大学病院	92点
3位 兵庫医科大学病院	94点	3位 神戸市立中央市民病院	91点

上記ランキングのほか、「医療ジャーナリスト松井宏夫が選ぶ「ガン治療の名医50人」」では本学の笹子三津留教授(上部消化管外科)が胃ガンの名医として紹介されました。

※12の指標

①診療科目数	3点満点	②医師数	15点満点	③専門医数	10点満点
④看護師配置	15点満点	⑤医療スタッフ	5点満点	⑥施設・設備	5点満点
⑦紹介率	5点満点	⑧災害拠点病院	2点満点	⑨病床利用率	10点満点
⑩平均在院日数	10点満点	⑪人件費率	10点満点	⑫経営収支比率	10点満点

出典 平成23年10月29日発行  
 週刊ダイヤモンド 第99巻 43号(通巻4403号)  
 (P.39, P.54, P.151より抜粋)

## 東トルコ地震に伴った医療支援について

呼吸器外科 大類 隼人

NGO AMDAの救急医療メンバーである私は、東日本大震災で医療活動をした後、今回の東トルコ地震発生を受け、被災地エルジシュで医療活動を行いました。

期間：平成23年10月24日～11月1日  
 場所：トルコ東部ワン地方 エルジシュ  
 目的：地震による被災者への緊急医療支援



被災地の様子

10月23日日本時間午後7時40分、トルコのイラン国境であり、クルド人の多いワン地方でマグニチュード7.2の地震が発生しました。特にエルジシュの町では被害が集中し、死者600人以上との報道がありました。私は東日本大震災でも活動しておりましたが、その際にトルコ文化交流会は水2.5tをペットボトルで確保して、被災者に送ってくれました。トルコ人たちの日本人を思う気持ちを身近に感じてただけに、この地震は特に人事ではありませんでした。NGO AMDAからもすぐさま派遣要請があり、発生翌日の24日夜に医師2名、通訳1名の医療チームとしてトルコに向けて関西空港を飛び立ちました。



頭部動脈性出血を止血

ワン空港に到着し、現地の協力団体の助けを借りながら、25日現地時間16時頃には混沌とした被災地エルジシュの仮設診療所に到着しました。町の中はいたる場所で住宅の倒壊が起こっており、昼夜を徹して救出作業が続けられていました。ここでは2カ所の医療施設が機能しており、そのうちのひとつがエルジシュ体育館を利用したこの仮設診療所でした。瓦礫の中から次々と救出者が運び込まれ、まさに戦場のような現場であり、ためらう余地なく我々はすぐさま診療を開始しました。



小児全身熱傷症例

この時点では重症患者も多く、ほぼ全てが処置を必要とする外傷患者であり、絶え間なく運び込まれる患者に対して、トルコ人医療チームと共に国籍や人種を越えて治療に当たりました。

私も被災地でテントでの生活を送っていましたが、この地域の気温は0度であり、また雨、雪が降る非常に過酷なものでありました。時間とともに重症患者は減りましたが、テントの数も足りない中、被災者は厳しい寒さにも苦しむこととなりました。

最終的に25日～30日まで6日間に渡って活動を行い、合計48人の診療を行いました。トルコと日本は互いに助け合ってきた歴史を持ち、東日本大震災でもトルコ人たちは日本を助けてくれました。また私もトルコで活動し、彼らは私に「また日本人が助けてくれた」と言います。私は「お互い様だ」と返しました。

過酷な現場の中、私は共に震災に立ち向かった大切な仲間を得ることができました。ここにこそ私たちの目指す人道医療支援があるのだと確信しています。

日本の震災もこのトルコも、2010年のハイチ地震も、私は忘れません。



トルコ医療チームと



テントの配給を待つ人々

## ■ 岩手県立宮古病院での医療支援 報告

全国医学部長病院長会議、被災地医療支援委員会において、東日本大震災の被災地に対して全国大学規模で医療支援を行うことが決定され、本学も岩手県立宮古病院へ輪番(1週間交代)で継続して医師を派遣することになりました。第1陣である4名の医師が平成23年10月2日(日)~10月15日(土)の期間にそれぞれ1週間、医療支援を行いました。



岩手県立宮古病院



### 腎・透析科 小瀧 慶長

10月2日から8日まで神経・脳卒中科渡邊将平先生とともに2名で宮古病院へ応援医師として伺う予定でしたが、急遽当科研修中の中尾英一郎先生も同行することとなり、計3名で任務にあたりました。私どもの任務は主に救急外来の対応でした。もともと宮古病院には約50名の先生方が在籍しておられたようですが、種々の理由により退職され、震災後約半年以上たっても30名ほどの先生しかおられず医師不足は深刻な状態でした。しかし病院は山の中腹に建っているため病院機能自体は平常で、さらには沿岸部の病院が被災してしまったこともあり、来院される患者さんは多く、そのため残っている先生

方は多忙をきわめ疲弊している状態でした。救急外来に受診される患者さんは高齢の方がほとんどで、避難所生活により食欲低下から栄養状態の低下をきたしている方、ストレスなどから血圧上昇をきたし脳卒中を起こされた方、足場が悪く転倒され骨折された方など疾患は多岐にわたりましたが、それぞれの患者さんすべてが我慢強く生活されている印象をうかがい知ることができました。私どもの勤務はごく短期間であり、どれほど病院や地域の方々の方力になれたかわかりませんが、医療も含め地域の再生にはまだまだ多大な時間がかかると思われますので今後も長期間にわたり物資だけではなく“人”の援助も必要と考えます。



太城病院長へ活動を報告



### 神経・脳卒中科 渡邊 将平

10月2日から10月8日にかけて、岩手県立宮古病院へ医療支援のため、行ってまいりました。岩手県の内陸部にある、いわて花巻空港から車で約3時間、途中リンゴ畑を見ながら、三陸沿岸の宮古市に向かいました。病院自体は高台に位置するため、震災の被害は軽微だったようですが、港周辺は瓦礫の多くは撤去されているものの、崩壊した建物や防潮堤が残っており、今回の津波の凄まじさを改めて実感させるものでした。

実際の業務としては、午前中は主に呼吸器内科外来での診療、午後は救急外来での診療でした。震災後、遠方に避難されていた患者さんが徐々に宮古に戻ってこられているようでしたが、声高には言われないものの、仮設住宅での生活などご苦労が多い様子でした。また、震災のため、医療機関の数自体が減少してしまった中、懸命に診療にあたっておられる現地の医療従事者の方々には、本当に頭が下がる思いでした。今後も被災地への医療支援は必要と思われました。わずか1週間ではありましたが、実際に被災地での診療を経験したことで、いままでの自分の医師としてのありかたを反省するよい機会になったと思います。

最後に、温かく迎えてくださいました、佐藤病院長、宮本副院長をはじめとする、宮古病院の医師・看護師のみなさまに厚く御礼申し上げます。



### ICU 竹田 健太

いわて花巻空港から車で約2時間半かかり、岩手県立宮古病院に到着しました。途中の山々の木々が紅葉を始めていて、秋の始まりを感じました。到着した翌日の10日より救急外来での勤務が始まりましたが、祝日であったために小児から高齢者まで幅広い患者さんが、内科疾患から外傷までと様々な症状で来

院していました。休日診療は岩手県立宮古病院が一手に引き受けている状況です。

翌日の11日の午前中に、公用車で宮古市内の田老地区、鉤ヶ崎地区の被災地の見学をさせていただきました。ほとんどの瓦礫が撤去されきれいな更地となっていました。10数メートルの高さもある堤防が破壊された痕跡を見て、改めて、津波被害の甚大さを感じました。

11日の午後から14日の午後まで救急外来で、救急車による搬送と時間外の予約外患者の診療を行いました。沿岸部での岩手県立病院系はほとんどが被災しているために、1時間かけて救急搬送されることもありましたが、心筋梗塞や脳卒中などの重症患者の搬送は少なかったです。

患者や院内の方々に震災の話を知ると、「流されなかったから・・・」という言葉をよく耳にし、東日本大震災が地震被害よりも津波被害のほうが甚大であったことを再認識させられました。宮古での1週間はあっという間にすぎ、病院からいわて花巻空港へ向かう道中、さらに山々の木々が紅葉していました。



宮古病院 佐藤病院長と



### 上部消化管科 浅野 晴紀

平成23年10月9日より10月15日までの7日間、ICU竹田先生と共に岩手県立宮古病院へ医療支援に行ってきました。みなさんご存じの通り、平成23年3月11日東日本大震災が起き、巨大津波が発生し、沿岸の街は壊滅的な被害を受け、また多くの方がなくなりました。今回私が行きました宮古市は約8.5mの津波のために、多くの被害があった地域です。岩手県立宮古病院は高台にあり、病院の機能に関しては、被害は全くなかったようです。しかしながら、周辺の入院施設に関しては津波の被害のため機能しておらず、地域の救急のすべてを請け負っている状況でした。また医師も震災後は減少し、常勤医の

負担が増し疲弊につながっています。

今回の活動では、午前は呼吸器内科外来、午後は救急外来を担当しました。驚いたことは、患者さんは全員凛とした態度で、元気そうであったことです。院内の雰囲気も明るく、復興へ向け一丸となっている印象です。逆に私が元気をもらったぐらいでした。

震災から半年以上経ちましたが、復興にはもう少し時間がかかるでしょう。東北地方の被災した地域に必ず明るい未来がやって来ることを強く祈り、最後の言葉とさせていただきます。



診察の様子



津波被害のあった地域の様子



## 兵庫医科大学ささやま医療センターの3年目を迎えて

兵庫医科大学ささやま医療センター 病院長 | 福田 能啓

明けましておめでとうございます。卯年の昨年は3月に東日本大震災がありました。地震、津波、原発事故による被害は甚大でした。「前進あるのみの卯年」に起こった大災害を目の当たりにして手放して「おめでとう」とは言いにくい気分ですが、今年は兵庫医科大学開学40周年でもあり、気持ちを引き締めて「明けましておめでとうございます」と言わせていただきます。

今年は辰年(壬辰みずのえたつだそうです。)です。辰の字は「振」からでており、「振」には「草木の形が整っている状態」を表しているという意味があるようです。また、「壬」は「妊」のことで「草木の内部に新しい種子が芽生え始めている」状態を表しているようです。今年は、状況整備が行き届き、その中で「新しい息吹」が生まれる年なのではないでしょうか。まさに、兵庫医科大学、兵庫医科大学病院、兵庫医療大学、兵庫医科大学ささやま医療センターが足固めをし、一步前進する年だと理解したいと思っています。

私は、米国にオバマ政権が誕生した年に篠山病院に着任いたしました。その後、病院が新築されましたので、それを機に「兵庫医科大学ささやま医療センター」に病院名を変更いたしました。そして、今年は医療センターになって3年目を迎えることになりました。ささやま医療センターで掲げている①Patient first、②Professionalism、③Team medicineの3つの「credo」に基づき、診療の充実及び経営改善に向けての努力をスタッフ一同で行って参りました。ささやま医療センターの3年目を迎えるこの時期に、大阪市には新しいリーダーが誕生しました。橋下徹大阪新市長は、「これだったら市長はいらないね、と言ってもらえるような新しい区役所を区民にみせたい」と抱負を語っていました。それぞれの区が責任を持って行政を遂行すれば全体でまとまりのある大阪市になるという構想のようです。まさに、病院においても同様で、各々の診療科、診療支援部門がプロフェッショナリズムを実践しながらチーム医療を行うことにより、患者さんに愛される病院が生まれるのではないのでしょうか。「ささやま医療センター」の地域医療への取り組みも同じだと考えています。

「辰」の字は、「貝」が足を出して動いている形だそうです。ゆっくりではありますが一生懸命足を動かして前進して行く年にしたいと思います。「有鳥在阜、三年不蜚不鳴、是何鳥也」、「三年不飛、飛將衝天、三年不鳴、鳴將驚人」は、紀元前613年に楚の国に即位した莊王が忠臣と交わした言葉です。「三年鳴かず飛ばずの鳥も、ひとたび飛び上れば鳳となる」という内容です。飛び立つときを待ちながら、力を蓄えている鳳を思い浮かべながら、ささやま医療センターの3年目の決意を固めたいと思います。どうか皆様のご支援をお願いいたします。

## 篠山教職員共済会 日帰り旅行を実施しました！！

篠山教職員共済会では、例年、教職員の親睦を深めることを目的として、夏には丹波篠山デカンショ祭り踊り子連への参加と併せ、秋には日帰り旅行を実施しています。

本年も、10月23日、29日、11月5日、6日の4回に分け、ルミナス神戸2でのステキバイキングを中心とした日帰りバス旅行を実施し、総勢87名の教職員が参加しました。

行程は、8時30分に篠山キャンパスを出発し、午前中はポートタワーなどメリケンパークを自由散策しました。12時にルミナス神戸2に乗船し、約2時間のランチクルーズを楽しみました。その後、神戸花鳥園での珍しい鳥のショーを見学、南京町での自由散策を行い、19時に篠山キャンパスに帰着しました。

職場が異なり、普段はあまり顔を合わせない教職員が交流を図ることができる良い機会であったと思います。来年以降も、是非、この日帰り旅行を継続していければと考えています。



## ささやま老人保健施設通所デイルームを拡充

平成23年9月10日から11月18日までの約2ヶ月間、ささやま老人保健施設内の旧厨房施設を通所リハビリテーション利用者の休憩室、サービスステーション等に改修する工事を行いました。現在、通所リハビリテーションの利用者は、1日50名を超える日が増えてきています。また、一部又は全介助を要する利用者の割合が増え、臥床等の休憩を行う場所の更なる確保が必要となり、アメニティの向上が課題となりました。

今回の改修では、旧厨房施設内に利用者の休憩室として8台のベッド、3室の車イス用トイレ、利用者の荷物置き場、サービスステーション及び休憩室等を設置し、既存のデイルーム内にも5か所の洗面コーナーを新設しました。今後は、今回の改修によるアメニティの向上により、ますます増加していく地域の要介護者のニーズに応えていきたいと考えています。



車イス用トイレ



荷物置き場



ベッド

## 平成23年度第1回感染症及び医療安全管理に関する講習会を開催

篠山キャンパスにおいては、平成15年度より、教職員の感染症及び医療安全管理に関する教育の一環として講習会を年2回開催しており、本年度も10月27日に第1回目の講習会を篠山市民センターにおいて開催し、151名が聴講しました。

第1部の感染症の講習については、兵庫医科大学感染制御学中嶋一彦講師と同病院感染制御部 一木薫看護師長により、「耐性菌対策」をテーマに講演をいただきました。第2部の医療安全管理の講習については、(株)スズケン カスタマーサポート部コンサルティング課岡田延行氏を外務講師として招聘し、「苦言・暴言・暴力への対応の考え方」をテーマに講演をいただきました。最後に当センターの医療安全管理室より、誤認防止対策の分析結果について報告を行い、当センターの現状について理解を深めました。





## 新しい年を迎えて 薬学部も完成年度に 兵庫医療大学 学長 | 松田 暉

明けましておめでとうございます。平成24年の年頭に際して御挨拶申し上げます。

昨年は3月11日に東日本大震災が発生し、津波被害に加えて福島原発事故も重なり、我が国の浮沈にかかわるような事態に見舞われました。亡くなられた多くの方々のご冥福と被災された方々の一刻も早い安寧をお祈り申し上げます。

さて、平成24年は兵庫医療大学にとって開学以来の第1の目標である「全学部の完成の年」と言えます。看護学部とリハビリテーション学部は昨年3月に既に一期生が卒業し、4月からは大学院修士課程も始まっております。一方、6

年制の薬学部は平成24年度が一期生の最終年度であり、来春には難関が予想される薬剤師国家試験と就職戦線を突破した一期生が世に出て行くでしょう。そういう意味で、大変重要な、そして本学にとって大きな節目の年になります。言い換えますと、大学全体として、完成、あるいは完成年度という文科省的な縛りから脱して、次のステージに進む総まとめの年であります。真の新しい大学として成長していくために我々は何をすべきか、教職員一同、真剣に考え、新たなステップを刻んでいかねばなりません。

チーム医療、ボーダレス、という開学以来の本学の特徴とする二つの柱も皆様のお蔭で定着してきましたが、これからは掛け声だけでなく、より実体を伴ったものにするにはどうしたらいいか、カリキュラムの見直しから始めて、兵庫医科大学との連携を一層強め、実のあるチーム医療教育を進めたいと思っています。また、教育の充実という観点からは、E-ラーニングを始めとするITを使った教育システムの導入も大事な取り組みになるでしょう。

本年も兵庫医科大学との連携を一層強めながら、次へのステップを刻んでいきたいと思っていますので、皆様方の一層のご理解とご支援をお願いいたします。

## 仕事研究セミナー「私の仕事」

キャリアデザインセンターにおいて、『仕事研究セミナー「私の仕事」』を開催し、平成23年10月27日は「卒業生からのメッセージ」、平成23年11月21日は「なぜ私が企業の研究職を選んだのか?」と題して、在学生に向けたメッセージをお話いただきました。

### 10月27日 ～卒業生からのメッセージ～

昨年度、本学作業療法学科を卒業し、現在おおくまりハビリテーション病院で作業療法士をされている長野貴之さんと宮崎友里さんをお迎えして、仕事のやりがいや学生時代の過ごし方などを分かりやすくお話いただきました。

参加者は熱心に聞いており、『仕事に誇りと熱意を持って働いておられるのがすごく伝わり、素晴らしい仕事・職業だと思った』『やりがいを感じて仕事をしている先輩から希望をもらうことができた』『今すべきこと、今どのように過ごしたらよいかのかが分かり大変参考になった』などの感想が寄せられました。長期実習や就職活動、国家試験など、みなさんが今後歩んでいく道をすでに経験している先輩からの話は、これからの学生生活をおくる上で、とても参考になったのではないのでしょうか。



### 11月21日 ～なぜ私が企業の研究職を選んだのか?～

理学療法士の資格を取得後、大学院へ進学、現在株式会社アシックス スポーツ工学研究所に勤務されている高島慎吾氏を講師としてお招きし、日々の仕事内容や理学療法士を目指した理由、大学院へ進み研究職を目指したきっかけなど、事例を交えて分かりやすくお話いただきました。

理学療法学科の在学生106名が参加し、学生からは「研究職で働く理学療法士の活躍を色々聞くことができとても良かった』『研究職について、靴など誰もが身に着けるところから怪我を防止するという新しい見方が増えたことが、これからの進路や将来に少しでも活かせるのではないかと考えた』『企業で働くにしても、病院で働くにしても、対象者の人のためにという目線は変わらないことがわかった』などの感想が寄せられました。理学療法の新しい一面を知ることができ、学生にとって将来の進路選択の貴重な機会となったようです。



## 平成24年度 兵庫医療大学 入学試験 速報

推薦入学試験結果 試験会場：兵庫医療大学  
選考方法：薬学部 専願公募制・公募制A日程…外国語、理科(化学)、調査書  
公募制B日程…理科(化学)、調査書  
看護学部・リハビリテーション学部…外国語、小論文、調査書

専願公募制					
試験期日：平成23年11月5日(土) 合格者発表：平成23年11月15日(火)					
学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	20名	34名	34名	30名	1.1倍
看護学部 看護学科	30名	194名	194名	30名	6.5倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	10名	78名	77名	14名	5.5倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	15名	32名	32名	16名	2.0倍

※実質倍率は「受験者/合格者」

公募制A日程					
試験期日：平成23年11月6日(日) 合格者発表：平成23年11月15日(火)					
学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	15名	73名	71名	43名	1.7倍

※実質倍率は「受験者/合格者」

公募制B日程					
試験期日：平成23年12月3日(土) 合格者発表：平成23年12月9日(金)					
学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	10名	51名	50名	27名	1.9倍

※実質倍率は「受験者/合格者」

一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験はこれから始まります!

### 一般入学試験

#### 前期A日程

募集人員	薬学部 医療薬学科 40名 看護学部 看護学科 57名 リハビリテーション学部 理学療法学科 約25名 リハビリテーション学部 作業療法学科 約12名
試験科目	薬学部 外国語(100点)、数学(100点)、理科(化学)(100点) 看護学部 外国語(100点)、国語(100点)、理科(化学・生物から1科目選択)(100点) リハビリテーション学部 理学療法学科 外国語(100点)、数学(100点)、理科(化学・生物から1科目選択)(100点) リハビリテーション学部 作業療法学科 外国語(100点)、国語(100点)、理科(化学・生物から1科目選択)(100点)
出願期間	平成24年1月10日(火)～平成24年1月24日(火) 消印有効
試験期日	平成24年2月2日(木)
試験会場	薬学部 兵庫医療大学 リハビリテーション学部 兵庫医療大学 看護学部 神戸ポートアイランドホール(通称：ワールド記念ホール)
合格者発表	平成24年2月10日(金)

#### 前期C日程

募集人員	薬学部 医療薬学科 15名
試験科目	理科(化学)(100点)、外国語・数学(1教科選択、2教科を受験した場合は高得点の1教科を合否判定に使用)(100点)
出願期間	平成24年2月3日(金)～平成24年2月13日(月) 消印有効
試験期日	平成24年2月18日(土)
試験会場	兵庫医療大学
合格者発表	平成24年2月24日(金)

### 大学入試センター試験利用入学試験

#### 前期日程

募集人員	薬学部 医療薬学科 5名 看護学部 看護学科 5名 リハビリテーション学部 理学療法学科 2名 リハビリテーション学部 作業療法学科 2名
試験科目	薬学部 外国語(100点)、理科①(化学I)(100点)、理科②(物理I・生物Iから1科目選択)(100点) 看護学部 外国語(120点)、国語(100点)、理科(化学I・生物Iから1科目選択)(100点) リハビリテーション学部 理学療法学科 外国語(100点)、国語(100点)、数学(数学I、数学I・数学Aから1科目選択、数学II、数学II・数学Bから1科目選択)(100点)、理科(化学I、生物I、物理Iから1科目選択)(100点) ※上記4教科から3教科選択、4教科を受験した場合は、高得点の3教科を合否判定に使用 リハビリテーション学部 作業療法学科 外国語(100点)、国語(100点)、数学(数学I、数学I・数学Aから1科目選択)(100点)
出願期間	平成24年1月10日(火)～平成24年1月24日(火) 消印有効
合格者発表	平成24年2月10日(金)

#### 前期B日程

募集人員	薬学部 医療薬学科 25名 リハビリテーション学部 作業療法学科 約8名
試験科目	薬学部 外国語(100点)、理科(化学)(200点) リハビリテーション学部 外国語(100点)、数学(100点)、理科(化学・生物から1科目選択)(100点)
出願期間	平成24年1月10日(火)～平成24年1月24日(火) 消印有効
試験期日	平成24年2月3日(金)
試験会場	兵庫医療大学
合格者発表	平成24年2月10日(金)

#### 後期日程

募集人員	薬学部 医療薬学科 10名 看護学部 看護学科 5名 リハビリテーション学部 理学療法学科 若干名 リハビリテーション学部 作業療法学科 若干名
試験科目	薬学部 外国語(100点)、数学(100点)、理科(化学)(100点) 看護学部 外国語(100点)、国語(100点)、理科(化学・生物から1科目選択)(100点) リハビリテーション学部 理学療法学科 外国語(100点)、小論文(100点)、理科(化学・生物から1科目選択)(100点) リハビリテーション学部 作業療法学科 外国語(100点)、小論文(100点)、理科(化学・生物から1科目選択)(100点)
出願期間	平成24年2月17日(金)～平成24年2月27日(月) 消印有効
試験期日	平成24年3月3日(土)
試験会場	兵庫医療大学
合格者発表	平成24年3月9日(金)

#### 後期日程

募集人員	看護学部 看護学科 3名
試験科目	外国語(120点)、国語(100点)、理科(化学I・生物Iから1科目選択)(100点)
出願期間	平成24年3月12日(月)～平成24年3月23日(金) 消印有効
合格者発表	平成24年3月28日(水)

※詳しくは、平成24年度学生募集要項をご確認ください。

## 平成24年度 兵庫医療大学大学院入学試験 結果

### 看護学研究科入学試験

試験期日：平成23年10月1日(土)  
試験会場：兵庫医療大学  
選考方法：外国語、専門科目、面接  
合格者発表：平成23年10月12日(水)

受験者	10名
合格者	8名

### 医療科学研究科入学試験

試験期日：平成23年10月1日(土)  
試験会場：兵庫医療大学  
選考方法：外国語、専門科目、面接  
合格者発表：平成23年10月12日(水)

受験者	9名
合格者	9名

第4回海泉祭 10月8日(土)～9日(日)

# ONE WISH

## ～みんなの明るい笑顔のために～を開催

両日とも天気に恵まれ爽やかな秋晴れの下、学生たちは先輩後輩と一緒に、教職員、家族、友人、近隣の方々との交流を深めることができました。



今年のスローガン「ONE WISH～みんなの明るい笑顔のために～」というのは東北地方太平洋沖地震で今、日本の笑顔が少なくなったのではないかな。それならば復興の街、神戸にあるこの兵庫医療大学の大学祭からたくさんの笑顔に日本に届けよう。そのために1つの願いに向けて仲間と協力していこう、という想いが込められています。

### 医療講演会

講演：『ダメ！ゼツタイ！薬物濫用 ～断ち切れない連鎖～』  
ビデオ上映：『今すぐ防げ！大麻汚染』

10月8日にオクタホールにて、本学副学長の馬場 明道教授より、『ダメ！ゼツタイ！薬物濫用～断ち切れない連鎖～』の講演と、『今すぐ防げ！大麻汚染』のビデオ上映が行われ、薬物濫用の怖さを伝えていただきました。



### ステージ・野外イベント・模擬店

ステージ上では、学内コンテストや部活サークルによるライブ、芸人ライブなどさまざまなイベントが学生主体で行われ、盛り上がりを見せていました。第4回目にして初の試みとなる、隣接する神戸夙川学院大学とのコラボ企画「兵庫医療・神戸夙川学院大学合同秋フェス2011！！」が2日目に行われ、本学からは軽音楽部やJazzバンド部が神戸夙川学院大学の野外ステージで、神戸夙川学院大学の軽音楽部が本学の野外ステージでライブを行いました。

また展示や模擬店、ふわふわ遊具、リサイクルマーケットの他、今年はアーティストライブや大道芸人のステージ、ふれあいどうぶつ村なども新たな企画として催され、子供から大人まで参加し楽しんでいただけるイベントが例年以上にたくさんあり、とてもにぎやかな大学祭となりました。



### 学部別イベント

**薬学部** レストランで、学生手作りの漢方茶と薬膳粥を来場者にふるまいました。健康にも良い薬膳粥は、在学生はもちろんのこと、近隣の方々にも大好評でした。



**理学療法学科** 「自分の体の事を知ろう！」というテーマで、学生スタッフの指導の下、体脂肪や肺年齢を調べました。その他様々な体験コーナーもあり、他学部の学生や高校生も参加していました。



**看護学部** 毎年好評の「アロマオイルを用いた手浴」を実施しました。香りを楽しむだけでなく、日々の体の疲れとともに、心の疲れをも癒してくれる、そんな空間に来場者もリラックスしていました。



**作業療法学科** 「革細工・プラバン作製」を実施し、世界でたった一つのオリジナルコースターやキーホルダーを作製しました。学生スタッフのアドバイスを受け、参加者は真剣に取り組んでいました。



見所満載となった海泉祭、さまざまなイベントを通して兵庫医療大学の雰囲気を皆様にご存知いただくことができたのではないのでしょうか。

今年のテーマにふさわしい「笑顔」がさまざまなところで生まれ、大盛況の内に幕を閉じました。

学内コンテスト投票は全て10円玉で行い、集まったお金は日本赤十字社を通して、東北地方太平洋沖地震の義援金として寄付させていただきました。



## 第1回ホームカミングデイ開催

卒業生を対象とした初めてのホームカミングデイを平成23年10月8日(土)海泉祭(大学祭)の1日目に開催しました。

### 看護学部

講演会：「母子保健専門家としての国際活動と今後の展望  
～ナイジェリアでの現任助産師教育～」

講師：兵庫医療大学看護学部 鈴木 江三子 教授

ナイジェリアで母子保健専門家として助産師教育に携わってきた貴重な経験を踏まえ、これからは世界に目を向けた国際的な看護活動とその土壌整備のための国際看護教育が重要になってくる、といった内容の講演でした。



### リハビリテーション学部

シンポジウム：「私が新人だったころ」

卒業生がそれぞれの職場で医療人として働き始めて約半年が経過した今、各人の現在の職場での状況や相談事等について、教員が新人だった頃の体験談とともにアドバイスをするなど、和やかな雰囲気活発に意見交換が行われました。



### 懇親会

看護学部、リハビリテーション学部それぞれの催しの後、両学部合同での懇親会が開催されました。学校法人兵庫医科大学からは、新理事長が懇親会にも駆けつけ、兵庫医療大学第1期生による初めてのホームカミングデイが開催されたことに、感慨一入の様子でした。学長や両学部長はじめ、多くの教職員も出席し、いずれも第1期生への思い入れの強さと社会に出て遅くなった卒業生との対面を懐かしみつつ、会話を楽しんでいました。



## 職業理解イベント

平成23年10月9日、海泉祭の2日目にあわせて職業理解イベント「医療のお仕事体験してみませんか!？」が行われました。このイベントは、医師・薬剤師・看護師(助産師・保健師)・理学療法士・作業療法士の仕事について、本学教員らが講師となって、中学生・高校生をはじめとする多くの方々へ医療の仕事を理解・体験していただくよう、昨年度から実施しています。

### 医師体験ブース

目や口の観察や、打鍵器(柔らかいハンマー)を使った腱反射テストなどの診察体験や、外科的処置の縫合体験を行いました。



### 薬剤師体験ブース

粒状のチョコレートに薬の錠剤に見立てて、自動で薬を分包する機械の操作の体験や、軟膏作り体験を行いました。



### 看護師体験ブース

聴診器を使って自分の鼓動や体内の様々な音を聞き、血圧測定器などを実際に体験していただきました。



### 理学療法士体験ブース

車いすや義足などに実際に触れていただきながら、理学療法士の仕事や大学に入ってから授業などについて説明を受けていました。



### 作業療法士体験ブース

手の巧緻性(手先の器用さ)と注意集中力の検査を行いました。



中学生・高校生のほかにも、小学生や本学地域交流プロジェクトの一環である「ポーアイ65歳大学」と「いきいき倶楽部」の常連メンバーさんなど、多くの方にご参加いただきました。参加者からは、「とても楽しかったです。子供たちの未来のきっかけになるかもしれない素敵なイベントだと思いました。」「自分の知らないことを知ることができ、医療にもっと興味をもちました。」などたくさんの感想が寄せられました。体験を通じて医療の仕事に興味を持っていただけたのではないのでしょうか。

## 第1回神戸マラソン開催

平成23年11月20日に初めて行われた神戸マラソンは、兵庫医療大学にとって非常に縁のあるマラソン大会となりました。それというのも、兵庫医療大学北側の道路がマラソンコースに指定され、約2万3千人のランナーが兵庫医療大学の建物を右に見ながら駆け抜けていったからです。

この日は、前日の雨模様から一転晴天に恵まれ、強風には悩まされたものの気持ちのいい一日となりました。本学からもランナーとして教員や在学生が出場し、また、沿道には在学生のボランティアも数多く参加して、懸命に走るランナーに向かって熱心に声援を送っていました。



兵庫医療大学北側のマラソンコース

### 出場した教員・学生からひとこと

#### 薬学部 山本 悟史 教授

スタートからゴールまで、とぎれることなく応援してくれる人が大勢いて、感動しました！  
神戸大橋の上にいる本学の学生ボランティアからの応援も、ゴールまでのラストスパートにつながりました。



軽快な足取りで走る山本教授

#### リハビリテーション学部 理学療法学科 坂口 顕 講師

沿道から応援してくれた方々や、本学の学生ボランティアからの声援にはとても勇気づけられ、最後まで完走することができました。

#### リハビリテーション学部 作業療法学科3年生 石山 健太 さん

私は何かに挑戦したいと思い神戸マラソンに友人と応募しました。運良く当選し、練習を重ねる中で、完走したいという気持ちが強くなりました。当日はスタッフ、ボランティアや沿道の方々、友人など様々な方のおかげで、楽しく走り切ることができ感謝の気持ちでいっぱいです。練習中には、右膝外側の筋肉に炎症が起こり痛みがありましたが、授業が終わったあと、夜遅くまで怪我の治療してくれた友人、先生には感謝しています。これを機に大阪、東京、ホノルルなどにも挑戦してみたいです。ストレスがある人、運動を始めたい人などにランニングはおすすめです。



正門横を走るコース

## 財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額 (単位:千円)
公益財団法人 日本生命財団 (日本生命財団高齢社会実践的研究助成)	中・重度要介護者の在宅療養継続に関する家族対処評価モデルの構築およびそのモデルの利用可能性	堀口 和子 (看護学部)	1,220

## 西宮キャンパスグランドデザインについて

兵庫医科大学は開設以来、西宮キャンパス(西宮市武庫川町)を拠点に医学教育研究機関として、39年の歴史を歩んできました。

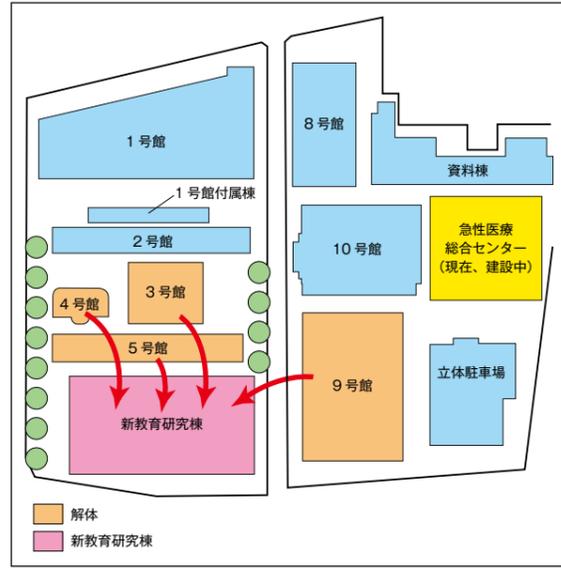
この西宮キャンパスでは、病院機能の拡充のため、内科病棟を主とする10号館を平成12年に建設し、現在、手術室、ICU、救命救急センター等の急性医療に特化した急性医療総合センターの建設を行っています。(平成24年12月完成、平成25年6月開設予定)

しかしながら、病院本館、大学施設については、築30年以上の老朽化した建物が多く、施設利用についても飽和状態にあります。

このため、平成21年度から、西宮キャンパスのグランドデザイン(将来構想)の策定に着手し、平成23年9月に完成しました。

西宮キャンパスグランドデザインでは、今後20年間で、西宮キャンパス内において、大規模な建て替え工事を順次行っていく計画であり、図のとおり第1期計画として、平成26年度から大学施設となる新教育研究棟の建設に着手する予定です。

なお、新教育研究棟の基本設計は平成24年度から検討を進める予定です。



第1期計画(平成26年度着工予定)

## 津波避難ビル協定の締結

平成23年11月4日、「稲むらの火」に因んで制定された津波防災の日(11月5日)を前に、西宮市役所に於いて津波避難ビルに係る協定の締結式が行われ、河野昌弘西宮市長から感謝状が手渡されました。

西宮市において、病院やホテルなどの民間施設が、津波による浸水に備えた一時避難施設に指定されることは初めてであり、本学を含めた8施設が協定の締結を行いました。

本学では、平成記念会館および立体駐車場が避難場所として指定されており、万一の津波災害時には周辺住民の方々の受け入れを行います。

なお、この模様は、朝日放送テレビ等のニュース番組で紹介されました。



河野西宮市長(右)から感謝状授与



河野西宮市長(中央)と民間8施設の代表

## 厚生労働大臣表彰を受賞

平成23年11月1日に品川プリンスホテルにおいて(社)日本臨床衛生検査技師会の創立60周年・法人化50周年記念式典が開催され、病院病理部鳥居良貴主任技師に表彰状と金杯が小宮山洋子厚生労働大臣より授与されました。これは多年にわたり臨床衛生検査業務を通じて国民医療の向上発展に寄与し、顕著な功績があったとして表彰されたものです。

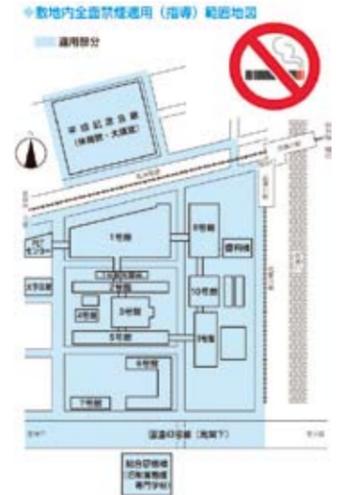


病院病理部  
鳥居 良貴 主任技師

## 敷地内及び敷地内近辺での禁煙の徹底について

本学では、平成15年12月から敷地内での禁煙を実施し、敷地外でも敷地に隣接する場所では喫煙しないよう注意喚起を行っています。敷地内禁煙は、病院において「がん診療連携拠点病院」の指定要件であり、さらに禁煙外来で算定している「ニコチン依存症管理料」の施設基準算定の要件でもあります。

しかしながら、敷地内や敷地内と敷地外境界付近での教職員等による喫煙が後を絶ちません。喫煙者の皆さんは医学・医療に携わる者であることを十分に自覚し、患者の皆さんや近隣の皆さんから指摘を受けることがないように、敷地内や敷地内と敷地外境界付近での禁煙を厳守してください。



## 省エネルギー 夏季の結果と冬季の取り組み

西宮キャンパスでは皆様のご協力の下、この夏も積極的に省エネルギー活動に取り組んで参りました。その結果として今年度(9月迄)のエネルギー原単位\*は、昨年度に比べ5.6%の大幅な削減を達成することができました。省エネルギー推進委員会発足前の平成16年度と比べると12.8%のエネルギー削減となっています。

冬季も引き続き、省エネルギー活動を行って参りますので、より一層のご協力をお願いします。

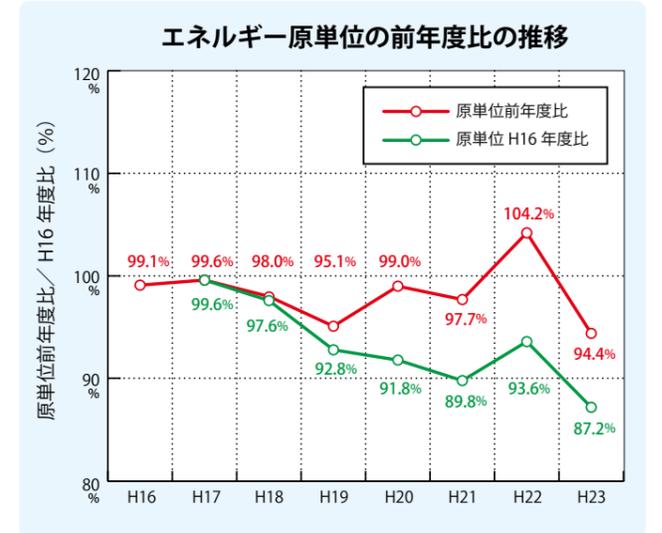
\* エネルギー原単位…延床面積あたりのエネルギー消費量

### 平成23年度 主な省エネルギー活動

- 病院長、副院長による病院・医局ラウンドの実施
- 医局研究室の不在時消灯・空調OFFの徹底
- 各棟の照明減灯・大便器ウォッシュレットの低温設定
- スーパークールビズ・ウォームビズの導入

### ウォームビズにご協力をお願いします!

- 診療現場以外での暖房の室温設定は19℃とし、節電に努める。
- 暖房機器に頼らず、働きやすく暖かい服装を着用する。  
(ただし、患者さんと直接接する部署は、失礼のないように配慮をお願いします。)



## 報道機関等への出演・掲載 (平成23年10月・11月分)

本学の取り組みや医療関連業務、医師等に対する取材、報道機関への出演・掲載情報をお知らせいたします。

本学ホームページにも最新情報を掲載しています。

「兵庫医大 広報 新聞掲載」または「兵庫医大 広報 テレビ放送」で検索して下さい。

新聞等掲載記事一覧 <http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/activity/public/newspaper.html>

テレビ放送情報一覧 <http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/activity/public/tvinfo.html>

### 新聞等

日程	媒体名	内容
2011年10月1日	毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、兵庫医科大学病院眼科の細谷友雅助教が、「点状表層角膜症」の症状や治療法などについて監修された記事が掲載されました。
2011年10月2日	読売新聞 (朝刊)	「病院の実力」(認知症)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2010年)が掲載されました。
2011年10月4日	毎日新聞 (朝刊)	「キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座」コーナーにおいて、兵庫医科大学リハビリテーション学部の山田大豪教授が「精神科領域の作業療法」と題して、精神面での治療を要する人への援助・支援をする精神科領域の作業療法について寄稿されました。
2011年10月4日	朝日、読売、毎日、日経、神戸新聞 (すべて朝刊)	2011年ノーベル賞医学生理学賞を受賞した3名の研究者に対し、免疫の同分野の研究に貢献していた審良静男兵庫医科大学名誉教授(現大阪大学教授)が、受賞された方々へ贈られたコメントが掲載されました。また、兵庫医科大学の中西憲司学長が審良名誉教授の同分野における研究の業績についてコメントされた内容も掲載されました。
2011年10月4日	朝日新聞 (夕刊)	「体とこころの通信簿」のコーナーにて、舌の異常について様々な症状が取り上げられ、兵庫医科大学病院耳鼻咽喉科の味覚外来での患者さんの症例の傾向などが掲載されました。
2011年10月6日	朝日ファミリー (朝日新聞折込み紙)	「医力伝心」のコーナーにて、兵庫医科大学病院糖尿病科の難波光義主任教授が糖尿病の診断についてや、治療法について解説された内容が掲載されました。
2011年10月7日	神戸新聞 (朝刊)	10月12日に開催される兵庫医科大学病院市民健康講座の案内が掲載されました。
2011年10月7日	神戸新聞 (朝刊)	兵庫医科大学にて10月8日に開催される医療講演会と、10月9日に開催される職業理解イベントについての案内が掲載されました。
2011年10月8日	文藝春秋	「100歳まで元気な人の秘密—胃がん手術100日後でトライアスロン完走した女性」と題した記事にて、兵庫医科大学病院上部消化管外科の笹子三津留主任教授が担当した患者さんが取り上げられ、胃がん手術や治療について笹子主任教授のコメントなどが掲載されました。
2011年10月14日	朝日新聞 (朝刊)	10月26日に開催される兵庫医科大学病院市民健康講座の案内が掲載されました。
2011年10月16日	朝日新聞 (朝刊)	10月15日に開催された、乳がんの理解を深める「ピンクリボンシンポジウム」(主催:日本対がん協会・朝日新聞社・神戸新聞社)にて兵庫医科大学病院乳腺・内分泌外科の三好康雄教授が講演され、乳がんの治療についてなど講演された内容が掲載されました。
2011年10月17日	神戸新聞 (朝刊)	10月26日に開催される兵庫医科大学病院市民健康講座の案内が掲載されました。
2011年10月18日	毎日新聞 (朝刊)	「キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座」コーナーにおいて、兵庫医科大学リハビリテーション学部の山崎せつ子教授が「高次脳機能障害」と題して、その特徴や生活上の留意点などについて寄稿されました。
2011年10月19日	神戸新聞 (朝刊)	10月15日に開催されたピンクリボンフェスティバルのシンポジウムにて、兵庫医科大学病院乳腺・内分泌外科の三好康雄教授が「最適な乳がんの治療法」と題して講演され、乳がんの治療や手術、術後の経過についてなど講演でお話しされた内容について掲載されました。
2011年10月20日	日経新聞 (夕刊)	全国的なリハビリ医の不足が伝えられ、その中で兵庫医科大学病院リハビリテーション部の道免和久主任教授が中心となり、2000年から地域でリハビリ医の育成を始め、リハビリ専門医が独り立ちするなどの成果が出始めていることが紹介され、その取り組みについて道免主任教授のコメントが掲載されました。
2011年10月25日	毎日新聞 (朝刊)	「キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座」コーナーにおいて、兵庫医科大学リハビリテーション学部の藤岡宏幸教授が「運動器リハビリテーション」と題して、運動器の障害や健康維持、障害予防について寄稿されました。
2011年10月26日	読売新聞 (夕刊)	トルコ東部で発生した地震の医療支援活動に、国際医療NGO「AMDA」を通じ兵庫医科大学病院呼吸器外科の大類隼人助教と他1名が派遣されたとの記事が掲載されました。
2011年10月27日	毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、兵庫医科大学病院腎・透析科の中西健主任教授が、「慢性腎臓病」の症状や治療法などについて監修された記事が掲載されました。

### 新聞等

日程	媒体名	内容
2011年10月27日	毎日新聞 (夕刊)	トルコ東部地震の被災地で、国際医療支援団体の「AMDA」を通じ被災者の診療にあたって、兵庫医科大学病院呼吸器外科の大類隼人助教の様子が現地の写真と共に掲載されました。
2011年10月29日 発行	週刊ダイヤモンド	特別保存版「頼れる病院2012」と題して、「医療の機能」について医師の充実度や設備状況など8指標、「経営状態」については病床利用率や経常収支比率など4指標の合計12指標で全国1250病院を評価したランキングが掲載され、その中で兵庫医科大学病院が西日本病院で3位、兵庫県では1位にランキングされました。また、医療ジャーナリストが選ぶ「がん治療の名医50人」に胃がんの名医として兵庫医科大学病院上部消化管外科の笹子三津留主任教授が選ばれました。
2011年10月29日	神戸新聞 (朝刊)	11月9日に開催される兵庫医科大学病院市民健康講座の案内が掲載されました。
2011年10月29日	神戸新聞 (夕刊)	トルコ東部で発生した大地震の被災地で、兵庫医科大学病院呼吸器外科の大類隼人助教が国際医療支援団体の「AMDA」から派遣され被災者の診療にあっており、その活動についてのコメントが現地の写真と共に掲載されました。
2011年10月30日	神戸新聞 (朝刊)	神戸市内で開催されたピンクリボンフェスティバルにて行われたシンポジウムの特集記事で、兵庫医科大学病院乳腺・内分泌外科の三好康雄教授が講演された様子が紹介され、講演会での乳がんの治療や手術に関する話や会場からの質問への回答などが掲載されました。
2011年10月30日	神戸新聞 (朝刊)	臓器移植法改正後の移植の現状について特集した記事にて、脳死移植医療における臓器提供の先進国であるスペインの臓器移植提供者管理について、兵庫医科大学病院救命救急センターの尾迫貴章助教が現地で経験や意見を交えて紹介した記事が掲載されました。
2011年11月5日	神戸、毎日、読売、朝日新聞 (すべて朝刊)	津波の被害にそなえ、西宮市が「津波避難ビル」として兵庫医科大学をはじめ民間8施設と協定を結び、その協定についてや協定の締結の様子が掲載されました。
2011年11月5日	神戸新聞 (朝刊)	「ひょうごの医療」コーナーにおいて、兵庫医科大学病院肝疾患センターのセンター長 西口修平主任教授がB型肝炎の治療法などについて解説された内容が掲載されました。また、兵庫県内で唯一の肝疾患診療連携拠点病院として、肝疾患に対する治療体制の整備を進めていることについても紹介されました。
2011年11月6日	読売新聞 (朝刊)	「病院の実力」(B型肝炎)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2010年)が掲載されました。
2011年11月12日	神戸新聞 (朝刊)	「ひょうごの医療」コーナーにおいて、兵庫医科大学病院肝・胆・膵科の飯島尋子教授らが中心となって開発した非アルコール性脂肪性肝炎の超音波検査について、その診断方法や実績について解説された記事が掲載されました。
2011年11月20日	読売新聞 (朝刊・大阪版)	先天的な骨の異常で出産直後に死亡するとされてきた難病の「致死性骨異形成症」について、1年以上生存する例があり「致死性」との病名が実態に即しておらず妥当ではないと考える医師が少なくないということが、兵庫医科大学産科婦人科の澤井英明准教授を班長とする厚生労働省研究班の調査で判明したことが掲載されました。6月16日には東京版で同様の記事が掲載され、今回は大阪版で改めて掲載されました。
2011年11月24日	読売ファミリー (読売新聞折込み)	「健康万歳!」のコーナーにおいて、兵庫医科大学病院上部消化管科の三輪洋人主任教授が、逆流性食道炎の原因や症状、治療法などについて解説された内容が掲載されました。
2011年11月24日	中日新聞 (朝刊)	10月29日に開催された、愛知県眼科医会主催の「市民公開講座2011」の特集記事にて、兵庫医科大学病院眼科の三村治主任教授が「眼瞼けいれん」について講演された内容が掲載されました。
2011年11月25日	毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、兵庫医科大学病院神経・脳卒中科の梶山幸司教授が、「多発性硬化症」の症状や治療法などについて監修された記事が掲載されました。
2011年11月25日、26日	神戸新聞 (朝刊)	11月30日に開催される兵庫医科大学病院市民健康講座の案内が掲載されました。
2011年11月30日	朝日新聞 (朝刊)	福島県飯野町で行われた放射線についての講演会にて、兵庫医科大学 遺伝学の振津かつみ非常勤講師がお話しされた内容などが掲載されました。

### テレビ放送等

日程	番組名	内容
2011年10月28日	毎日放送【ちんぷいぷい】	兵庫医科大学病院小児科の服部益治教授が、マイコプラズマ肺炎について生放送のスタジオにて解説されました。
2011年11月1日	テレビ朝日【たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学】	兵庫医科大学病院循環器内科の増山理主任教授が、「内臓のむくみスペシャル」と題された同番組に出演され、スタジオで解説している様子などが放映されました。

### 教職員の皆さんへ

広報課では法人全体の報道機関などへの出演・掲載を把握し、ホームページや広報誌を通して皆様にご案内させていただいております。

報道機関等から、広報課を介さずに取材依頼や掲載許諾があった場合、お手数をおかけいたしますが総務企画部広報課へご連絡ください。

## ■ 広報誌 読者アンケートにご協力ください！

平素より広報誌発行にご理解・ご支援くださりありがとうございます。みなさんにより親しんでいただける広報誌を目指し、読者アンケートを実施します。ぜひアンケート回答にご協力ください。



## ■ 「TULLY'S COFFEE」兵庫医科大学病院店がオープン

平成23年12月14日、1号館附属棟3階に「TULLY'S COFFEE」兵庫医科大学病院店がオープンしました。患者さんへのアンケートの回答にもコーヒーショップ設置のご要望を多数いただいていたこともあり、オープン当日から大変賑わっています。

店内では各種コーヒーやその他飲料、季節限定のドリンク、パン類を中心とした軽食、デザートなどが販売されておりますので、どうぞご利用ください。

**営業時間：7:00～20:00(年中無休)**



オープン当日の様子

## ■ 学校法人兵庫医科大学基金 状況報告

本法人は、平成21年4月1日に学校法人兵庫医科大学基金を創設し、継続的な募金活動を開始するとともに、基金の活動を支援する組織として学校法人兵庫医科大学兵医・萌えの会を設け、その会員の皆様から会費を寄付金のかたちで募り、基金の運営に寄与することとしております。

寄付活動を開始して以来、患者様をはじめ、後援会会員、緑樹会会員、名誉教授、退職者等は言うに及ばず、協力医療機関や関連企業等の幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方からご寄付いただきました貴重な浄財は、教育・研究環境の整備や学生への奨学金等の支援を通じて、社会への貢献・還元のために使用させていただきます。

今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願いたします。

(募金推進室)

H21.1.1～23.10.31

区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	160件	31,155,000円	244件	17,777,498円	404件	48,932,498円
入金	156件	30,405,000円	240件	17,572,498円	396件	47,977,498円

### 寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H23.7.1～10.31

[企業等法人] (12法人)		[その他個人] (33名)	
500,000円 株式会社 エイチ・アイ様	50,000円 大西 誠様	500,000円 株式会社 オーエンス様	50,000円 森下 世志典様
100,000円 有限会社エイチ・アイ・サービス様	50,000円 藤田 正一様	100,000円 田中工業株式会社様	50,000円 阿河 真一様
	10,000円 瀬崎 繁晴様		5,000円 高橋 雄二様
(ご芳名のみ記載)		(ご芳名のみ記載)	
株式会社 きんでん様		坂本 恵美子様	
成光株式会社様		田中 米治様	
株式会社アクセライズ様		住谷 育様	
フジテック株式会社 大阪支社様		勝木 キミ子様	
株式会社 西薬局様		島崎 勝一様	
株式会社 不二家商事様	匿名 2社	小原 由企子様	匿名 21名
[教職員] (2名)		[緑樹会] (2名)	
10,000円 長谷川 誠実様			匿名 2名
(ご芳名のみ記載)			
鈴木 敬一郎様			

## ■ 規程等の制定・改正・廃止 (規程等の全文は学内ネットに掲載)

No.	項目	制定・改正・廃止の趣旨	制定・改正・廃止日
1	兵庫医科大学特別招聘教授に関する規程	学外の著名人に講義等を依頼する場合の職名の取扱いを定めるため制定。	平成23年10月17日
2	兵庫医科大学安全衛生管理組織規程	労働衛生管理や災害防止措置、労働者の心身の健康管理に関する業務などの安全衛生管理業務について各職制管理者の権限と責任を定めるため改正。	平成23年11月1日
3	兵庫医科大学開学40周年記念事業募金委員会内規	兵庫医科大学開学40周年記念事業募金活動を行う委員会を設置するため制定。	平成23年11月15日
4	(仮称)11号館建設事業募金委員会内規	上記内規制定により廃止。	平成23年11月15日
5	兵庫医科大学就業規則	自己都合により退職する者について、代替要員の確保や給与処理等を円滑に進めるべく、退職願の提出を現行の14日前から1カ月以前へ変更するため改正。	平成23年12月1日
6	兵庫医科大学期間契約雇用職員就業規則	同上	平成23年12月1日
7	兵庫医科大学給与規程	医師の重症当直の取り扱いを廃止し、重症患者への診療対応の手当として「重症診療手当」を新設するため改正。	平成23年12月1日
8	兵庫医科大学学則	休学者について、平成24年度入学生より在籍料を徴収することとしたため改正。	平成24年4月1日
9	健診センター運営規程	同センター構成員の具体的人員を明確に定めるため改正。	平成23年9月20日
10	兵庫医科大学病院医療安全管理規程	医療事故発生時の公的機関への報告や公表について、迅速かつ実態に合わせた対応をするため改正。	平成23年11月1日
11	理学療法士及び作業療法士レジデント取扱内規	理学療法士及び作業療法士のレジデント応募資格を兵庫医療大学の卒業生に限らず広く募集すること、また、定員を理学療法士、作業療法士別に設けず、1年目、2年目合わせて10名に変更するため改正。	平成23年11月15日
12	ささやま医療センター時間外分娩手当に係る暫定内規	産婦人科医師の応援・増員が得られるまでの間、分娩業務への他科医師の応援体制を円滑に維持するため制定。	平成23年12月1日
13	兵庫医科大学ささやま医療センター就業規則	自己都合により退職する者について、代替要員の確保や給与処理等を円滑に進めるべく、退職願の提出を現行の14日前から1カ月以前へ変更するため改正。	平成23年12月1日
14	兵庫医科大学ささやま医療センター期間契約雇用職員就業規則	同上	平成23年12月1日
15	兵庫医科大学ささやま医療センター非常勤職員就業規則	同上	平成23年12月1日
16	兵庫医科大学ささやま老人保健施設就業規則	自己都合により退職する者について、代替要員の確保や給与処理等を円滑に進めるべく、退職願の提出を現行の14日前から1カ月以前へ変更するため改正。	平成23年12月1日
17	兵庫医科大学ささやま老人保健施設期間契約雇用職員就業規則	同上	平成23年12月1日
18	兵庫医療大学大学院担当手当支給内規	大学院で教育を担当する教員に大学院担当手当を支給するため制定。	平成23年10月4日
19	兵庫医療大学就業規則	自己都合により退職する者について、代替要員の確保や給与処理等を円滑に進めるべく、退職願の提出を現行の14日前から1カ月以前へ変更するため改正。	平成23年12月1日
20	兵庫医療大学期間契約雇用職員就業規則	同上	平成23年12月1日
21	兵庫医療大学学則	既に決定している看護学部3年次への編入学募集停止が入学定員の変更を伴うこと、また、看護学部カリキュラム改訂が看護学部看護学科の修得単位数変更を伴うため改正。	平成24年4月1日
22	学校法人兵庫医科大学期間契約雇用職員の正職員登用に係る取扱要領	契約期間を経過した後も継続して雇用できる能力を有する者を発掘するべく、期間契約雇用職員に正職員登用の機会を設けるため制定。	平成23年11月1日
23	学校法人兵庫医科大学規則等管理規程	ホームページの規程集の整理に合わせ、現行の取扱の規程化、制定・改廃等のルールの明確化等を図るため制定。	平成23年11月15日

■兵庫医科大学 ■兵庫医科大学病院 ■ささやま医療センター ■兵庫医療大学 ■学校法人兵庫医科大学

## 私たちの地域、 私たちのフィールド

西宮、神戸、篠山を中心に、観光スポット、イベント、歴史、ニュース、豆知識などを紹介します。

### ケーキ工房のあるまち西宮をPR ～西宮洋菓子園遊会～

西宮市内には、各店舗がそこで作ったオリジナルのケーキを販売する「工房型の洋菓子店」が多いと言われています。そんな「ケーキ工房のあるまち西宮」をPRするため、西宮商工会議所と西宮市、市内の洋菓子店が中心となって組織する西宮ブランド・インキュベーション事業実行委員会主催による「西宮洋菓子園遊会」が毎年開催されています。

平成12年から実施されているこの催しも、平成23年で12回目。10月24日にノボテル甲子園で行われた園遊会では、『西宮スイーツコレクション2011』をテーマに、市内11の洋菓子店のパティシエがそれぞれのコンセプトで腕をふるった「スイーツのコース」を提供しました。

参加者は、約25.8倍(応募総数2,577通)という非常に高い倍率の中から抽選で選ばれた100組200名。次々と運ばれてくる、趣向を凝らした季節感あふれるスイーツに舌鼓を打ちました。



第12回西宮洋菓子園遊会の様子

情報提供：西宮商工会議所



## 卒業生からのメッセージ



こさか ひさし  
小坂 久 ポストン大学 外科 postdoctoral fellow

#### 略歴

1998年	兵庫医科大学卒業	兵庫医科大学第一外科(現外科学)入局
2000年	宝塚市立病院	外科
2003年	兵庫医科大学	大学院入学
2007年	兵庫医科大学	大学院修了
2010年～現在	ポストン大学	外科 postdoctoral fellow

みなさま、こんにちは。現在、私はアメリカ合衆国のマサチューセッツ州にあるポストン大学に留学しています。私の留学記の第2回目は、アメリカで経験した印象深い出来事についてお届けしたいと思います。

### ニューヨークシティーマラソンでサブ4達成

ボストンの冬はマイナス10度前後の気温が続く事もあるほど厳しいのですが、春から秋にかけての気候はカラッとしていて青空が広がりとても快適です。素晴らしい青空のもと市内中心部を流れるチャールズ川沿いのジョギングコースを走る事はとても気持ちよく心身ともにリフレッシュできます。小説家の村上春樹氏もボストン在住時に毎日ジョギングしていたらしく、彼のエッセイにも登場するこのジョギングコースは、チャールズ川越しに見えるレンガの街と近代的なビル群のコントラストが絶妙でジョギングしながら景観に見とれてしまうほど素敵です。素晴らしい環境の中、自身の健康管理の為にジョギングをしていたのですがモチベーションを維持する為になにか目標を立てようと思いニューヨークシティーマラソンに応募してみました。抽選に当選した段階で目標を4時間以内で走る事(サブ4)に設定しました。なかなか厳しい数字ですが仕事後や休日に継続的にトレーニングした結果、マラソン前には体脂肪8%まで絞られ、1kmを5分ペースで走れるようになりました。2010年11月7日、ニューヨークはスタテン島から始まったレースでは予定通りとはいきませんでした。繰り返した練習で体に染み込んだペースで自動的に脚が動き、なんとかギリギリでサブ4を達成できました。レース最後の2kmは繰り返し走った日々を思い返し、感動して号泣しながらのゴールでした。子供の頃から持久走が苦手な私でも後ろから2、3番目だった私がマラソンを完走して、しかもサブ4を達成できた事は大きな驚きであり感動でありました。無理だと感じる事でも適切な戦略に沿って努力を繰り返す事によって目標を遂行する為の能力を獲得できる事を学んだとても貴重な体験でした。



NYCマラソン完走後



NYCマラソン出場時

### アメリカ肝臓学会からの高い評価

ところで私は留学中走っていたばかりではありません。アメリカでの研究における目標は術後癒着形成メカニズムにおけるケモカインの役割を解明する事です。念入りに情報を集めて計画し、何度も実験を繰り返しました。もちろん実験がすべて予想通りに進む訳では無いのですが、兵庫医科大学でご指導頂き、繰り返し行ってきた実験手技が体に染み込んでいたので、なんとか困難を乗り越えて癒着形成メカニズムの一部を解明する事ができました。実験結果はアメリカ肝臓学会から高い評価を得て2011年11月5日、サンフランシスコにおいてAmerican Liver Foundation Awardを受賞しました。ニューヨークシティーマラソンからちょうど一年、繰り返し行ってきた実験によって得られた成果でした。



ALF授賞式、兵庫医科大学外科の先輩で現UCSDの石先生と

### 後輩へのメッセージ

兵庫医科大学は伝統的にアカデミックな学風で多くの偉大な研究者を擁しており、先輩諸氏から研究についての確かなアドバイスを受ける事ができます。医学研究を志す学生諸氏は、この恵まれた環境を十二分に活用した上で、さらに自身の努力を繰り返し、医学界において活躍して頂きたいと思っております。

## 多彩人 “ピアノと共に生きる”多彩人

兵庫医科大学  
教務学生課  
島田 稔也 課長

教務学生課の島田稔也さんは、音楽好きの少年だった。姉の影響で7歳からピアノを習いはじめ、大学時代には関西学院グリークラブ(男声合唱団)でその腕前からピアノ伴奏を務めるようになった。初舞台は大阪にあるザ・シンフォニーホール。団員と共に音楽をつくり上げ、何千人もの観客の前で演奏する。責任と期待、また緊張を保つことで本番までは大変なプレッシャーに苛まれる。しかし一人でピアノを演奏するのは味わえない感動を合唱ピアニストに見出した島田さんは、大学卒業後も仕事の傍ら練習を続け、現在も年間を通じて数多くの演奏会に出演している。

仕事をしながらピアニストとして舞台に立つということは並大抵のことではない。本番に向けて何ヶ月も前から練習し、今なお東京の師匠にレッスンを受けるに向き、また合唱団との合同練習も行わなければならない。



大阪ザ・シンフォニーホールにて

仕事から帰宅後も練習が常に行えるよう、自宅には24時間練習可能な環境の音楽室を用意している。

そうまでして演奏会に出演するには訳がある。団員と音楽をつくり上げるアンサンブルにはコミュニケーションが絶対必要であり、特に一般の合唱団の多業種の人々との出逢いが自分の人間性や感性を高めしてくれる。これは今の職場にも通じることで、日頃からのコミュニケーション力が何より大切であるという。「ピアノの技術力だけなら私よりもっと上手な人は沢山いる。それでも私を起用してもらえるのは、舞台上に立てば一瞬にして、お互い阿吽の呼吸で理解しあえるというコミュニケーション力が大きいんじゃないかな?」と話してくれた。

関西学院グリークラブは日本の大作曲家、山田耕筰を輩出した日本で最も歴史のある男声合唱団である。国内外で認められた同団の伴奏を音楽系大学出身ではない島田さんが務めるということは非常に貴重なことだ。「これまで色々な人が私を導いてくれた。ピアノは人生の道標かな...?」と笑顔で語ってくれた。



平成23年10月10日(於:いたみホール) 関西合唱コンクール



関西学院大学在学中に関西学院グリークラブ在籍。卒業後、同グリークラブの国内外演奏旅行にピアニストとして同行し、合唱指揮者(故)北村協一氏の勧めもあり、合唱ピアニストとして本格的活動を開始する。これまで、東京オペラシティH、大阪フェスティバルH、シンフォニーH等、数々の著名なホールで演奏を行う。関西グリーをはじめ、同志社グリーOB、その他一般の合唱団や企業の合唱団など、関西主力の合唱団の伴奏を引受け、また最近では関西グリーの合唱CD発売制作にピアニストとして録音に携わるなど、活動は多岐にわたる。

さまざまな分野で才能を開花させている、極めて、アクティブに活動している“多彩人”の情報をお待ちしています。自薦・他薦は問いません。総務企画部広報課までご連絡ください。<電話：0798-45-6655 メール：kouhou@hyo-med.ac.jp>

# 平成24年1月～4月 主な行事予定

※日程など、今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。

## 1月

1月5日	兵庫医科大学	公務員採用試験ガイダンス(3学部)
1月13日	兵庫医科大学病院	防災訓練
1月17日	兵庫医科大学	レクチャーシップ「知の創造」講演会
1月18日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「最近の麻酔の進歩」
1月20日	兵庫医科大学	大学院研究発表会(予定)
1月23日	兵庫医科大学病院	チーム医療推進講演会 「チーム医療は誰のため？」
1月25日	兵庫医科大学	一般入学試験 第1次試験
1月26日	兵庫医科大学	第4回研究セミナー
1月31日	兵庫医科大学	C B T (薬学4年)

## 2月

2月1日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「胸痛を感じたら」
2月2日	兵庫医科大学	一般入学試験(前期A日程)
2月3日	兵庫医科大学	一般入学試験(前期B日程)
2月4日 5日	兵庫医科大学	一般入学試験 第2次試験
2月15日	兵庫医科大学	大学入試センター試験利用入学試験
2月16日	兵庫医科大学	兵庫医科大学・ささやま医療センター合同 病院説明会(看護学部)
2月17日	兵庫医科大学	大学院入学試験 大学院研究発表会(予定)
2月18日	兵庫医科大学	一般入学試験(前期C日程)
2月21日	兵庫医科大学病院	第4回学校法人兵庫医科大学連携病院の会
2月22日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「喋りづらい!力が入らない! それって脳卒中かも!？」 市民健康講座「がんと向き合う～家族として できること～」

## その他開催日が未定の行事

1月中旬	兵庫医科大学	動物慰霊祭
1月中	兵庫医科大学病院	阪神地域がん地域連携クリティカルバス 推進打合せ
2月中旬	兵庫医科大学	社会人スキルガイダンス② 見学・就活・メイク(看護学部)
2月中	兵庫医科大学病院	阪神南園域リハビリテーション研修会
2月中	兵庫医科大学病院	阪神南園域リハビリテーション支援セン ター会議
3月中旬	兵庫医科大学	兵庫医科大学・ささやま医療センター レジデント説明会(リハビリテーション学 部)予定

## 3月

3月1日	兵庫医科大学	卒業式
3月3日	兵庫医科大学	一般入学試験(後期日程)
3月3日	兵庫医科大学病院	第12回東灘区病診連携学術集談会
3月5日 ～9日	兵庫医科大学	職場見学【兵庫医科大学】(看護学部)
3月7日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「肺癌の外科治療」
3月11日	兵庫医科大学	卒業式 謝恩会
3月12日 ～13日	兵庫医科大学	職場見学【ささやま医療センター】 (看護学部)
3月13日	兵庫医科大学	全学FD研修
3月19日	兵庫医科大学	106回 医師国家試験合格発表
3月28日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「炎症性腸疾患とは・・・」
3月31日	兵庫医科大学	白衣授与式

## 4月

4月5日	兵庫医科大学	入学式 保護者説明会(ノボテル甲子園)
4月5日 6日	兵庫医科大学	新入生学内オリエンテーション
4月6日	兵庫医科大学	学部・大学院入学式
4月6日 ～11日	兵庫医科大学	新入生オリエンテーション
4月7日	兵庫医科大学	新入生歓迎イベント
4月19日	兵庫医科大学	学位授与式
4月20日 21日	兵庫医科大学	新入生学外オリエンテーション

3月中旬	兵庫医科大学	就職・実習説明会(看護学部)予定
3月中	兵庫医科大学病院	阪神南園域リハビリテーション連絡協議会
3月中	兵庫医科大学病院	病院ボランティア連絡会
3月中	兵庫医科大学病院	阪神地域がん地域連携クリティカルバス 推進打合せ
3月末	兵庫医科大学	国家試験合格発表(看護学部・リハビリ テーション学部)



## 大学探訪

### 兵庫医科大学 正門

創始者であり初代理事長の故森村茂樹氏が念願の開学を前に看板を掲げる様子と、現在の兵庫医科大学正門の様子です。  
平成24年、兵庫医科大学は開学40周年を迎えます。開学からの40年間、毎年たくさんの学生たちが希望に胸を膨らませ、兵庫医科大学の門をくぐりました。40年という年を経て、その新入生たちも、立派な医師として多くの患者さんの命を守っています。  
開学40周年の節目となる本年も、兵庫医科大学の正門は学生の成長を見守っています。

## 学校法人兵庫医科大学

### 建学の精神

社会の福祉への奉仕  
人間への深い愛  
人間への幅の広い科学的理解

 **兵庫医科大学**  
 **兵庫医科大学病院**

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
TEL:0798-45-6111(代)  
http://www.hyo-med.ac.jp/ (大学)  
http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/ (病院)  
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/ (法人)

 **兵庫医療大学**  
〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6  
TEL:078-304-3000(代)  
http://www.huhs.ac.jp/

 **兵庫医科大学**  
**ささやま医療センター**  
〒669-2321 兵庫県篠山市黒岡5番地  
TEL:079-552-1181(代)  
http://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/

学校法人兵庫医科大学広報

発行月・VOL/2012年新年号・VOL.214  
発行日/平成24年1月5日

発行/学校法人兵庫医科大学 総務企画部 広報課  
印刷・製本/株式会社ゼネラルアサヒ

学校法人 兵庫医科大学 事業法人

株式会社 **エイチ・アイ**  
有限会社 **エイチ・アイ・サービス**

「事業会社の自由な発想」と  
「何でもチャレンジの機動力」

をモットーに、大学への貢献、皆様へ「お役立ち」を目指します。

各種斡旋：レンタカー割引、家電製品、引越業者紹介他  
保険設計：団体扱生命・損害保険、「学生総合補償制度」  
取扱い等々・・・お気軽にお問合せ下さい。

西宮市武庫川町1番1号 兵庫医科大学6号館2F  
Tel : 0798-45-6656 / 6673  
HP : http://hi-hyogo.com/hi.html



**タリーズコーヒー**  
兵庫医科大学病院店  
1号館附属棟 3階 Tel 0798-44-0360  
営業時間 7:00～20:00